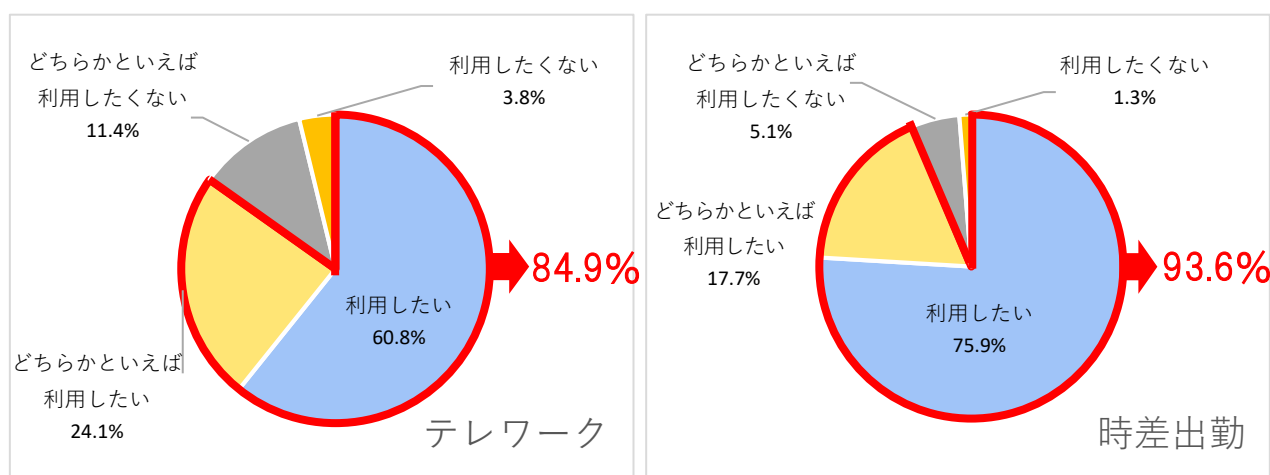


2020年度（第31回）

新入社員の会社生活調査

注目データ

- ・テレワーク制度があれば“利用したい”…84.9%（過去最高）
- ・時差出勤制度があれば“利用したい”…93.6%（過去最高）



- ・費用を自己負担してでも“勉強したい”…59.0%
- ・1か月に許容できる残業時間“20時間まで”…52.6%

目次

- 全体総括・・・P.1
- 注目データ・・・P.2 ～ P.3
- 調査概要・・・P.4
- 調査結果・・・P.5 ～ P.11
- データ集・・・P.12 ～ P.36

学校法人産業能率大学 総合研究所（東京都世田谷区）は、新入社員の働く意欲や新社会人としての意識、将来の目標などに関するアンケートを実施し「2020年度 新入社員の会社生活調査」としてまとめました。

この「新入社員の会社生活調査」は、1990年度から継続して実施しており、今年度で31回目となります。調査は3月26日から4月7日まで、本学の産能マネジメントスクールが開催する「新入社員セミナー」に参加した新入社員を対象に実施し、79人（男性50人・女性29人）から有効回答を得ました。今年度は、新型コロナウイルス感染防止のために対面型セミナーからオンラインセミナーに変更されたこともあり、昨年の回答数（429人）から大幅に減少しています。

総 括

ここ数年、売り手市場となっていた新卒採用環境ですが、今年度は大きく変化しました。今年度の新入社員に就職活動状況について尋ねたところ、「かなり大変だった」という答えが35.4%となり、2011年度（東日本大震災の年）と並んで過去最高となりました。（問1）

一方、就職活動の結果に満足しているかについては、「たいへん満足」が27.8%で過去最低となりました。（問2）2つの調査項目から、今年の就職状況が厳しかった様子がうかがえます。

新型コロナウイルスの感染予防対策として注目を集めたテレワークや時差通勤については、新入社員も高い関心を寄せています。会社にテレワークや時差出勤の制度があった場合に利用したいかを尋ねたところ、テレワークについては、「利用したい」と「どちらかといえば利用したい」を合わせて約85%が利用したいと回答しました。また、時差出勤についても両回答を合わせて約94%が利用したいと回答し、どちらも過去最高となりました。（問10）

また、1か月間に許容できる残業時間を尋ねたところ、「1～10時間」が19.2%、「11～20時間」が32.1%となり、いずれも過去最高となりました。この結果、「0時間」（1.3%）を含めて、“20時間まで”とする回答が約53%となり、初めて過半数を占めました。（問9）

残業時間が減ることによって自由な時間が増えますが、業務時間外に勉強したいかを尋ねたところ、約91%の新入社員が勉強したいと答えました。この内、「全額自己負担でも勉強したい」は20.5%で前年度（13.6%）よりも大幅に増えています。また、「会社から費用の一部援助があるなら勉強したい」も38.5%で前年度（32.7%）を上回り、自分を磨くためには費用の自己負担を厭わないとの意識が高くなっています。（問13）なお、勉強したい理由には、「ビジネススキルを磨きたい」（53.6%）や「教養を高めたい」（52.2%）などが上位にきています。（問14）

将来支給される公的年金（国民年金・厚生年金等）を老後の収入として期待しているかについて尋ねたところ、「期待している」は5.1%で前年度（11.7%）から半減しました。「どちらかといえば期待している」も17.7%で前年度（20.0%）よりも減少し、公的年金への期待が萎んでいく様子が浮き彫りになりました。（問18）

このような新入社員にとって、会社生活におけるコミュニケーションで自信のない（不安がある）ことは何かを尋ねると、「社外に対する電話対応」が82.1%、同じく「社外との対話・面談」が64.1%で、社外との折衝に不安を大きく感じていました。（問24）

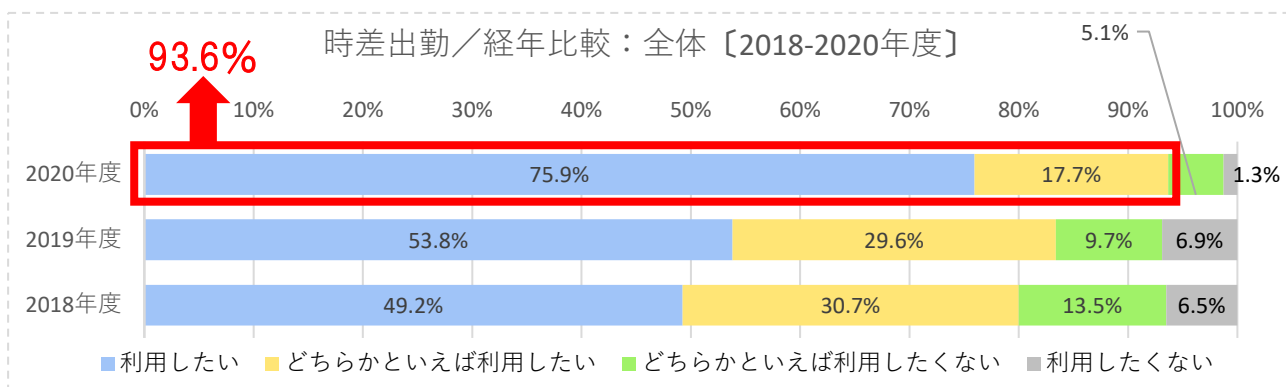
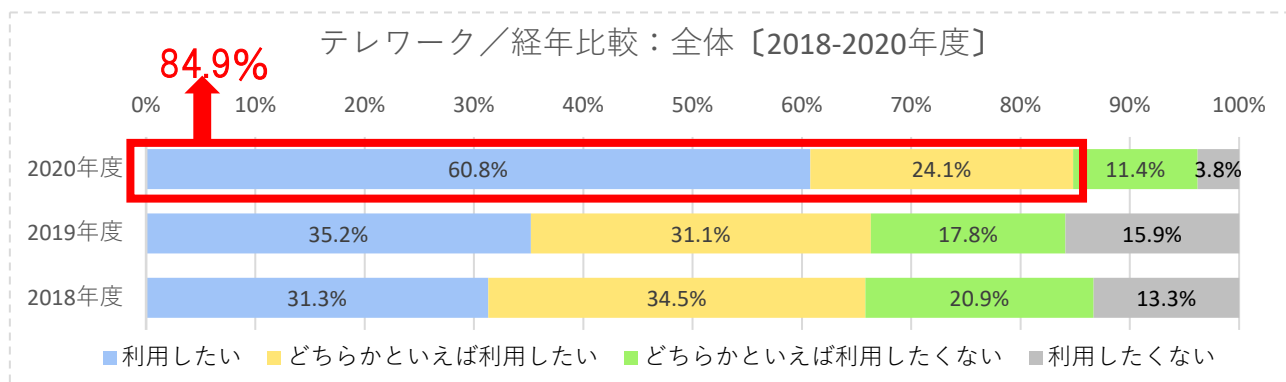
そうしたことから顧客への報告や連絡手段として最も使いやすいのは、「メール」との回答が一番多く、47.4%と半数近くを占めています。（問23）

注目データ

◆テレワークの制度があれば“利用したい” ⇒約85%

◆時差出勤の制度があれば“利用したい” ⇒約94%

※どちらも前年度から大幅増



働き方改革として注目されるテレワーク、時差出勤、副業などを制度として認める動きが拡大しています。これらの制度があった場合の利用意向を尋ねました。

その結果、テレワークについては、「利用したい」が60.8%となり、前年度と比べると25.6ポイント増と大幅に増えました。さらに「どちらかといえば利用したい」（24.1%）と合わせると84.9%が“利用したい”と答えました。

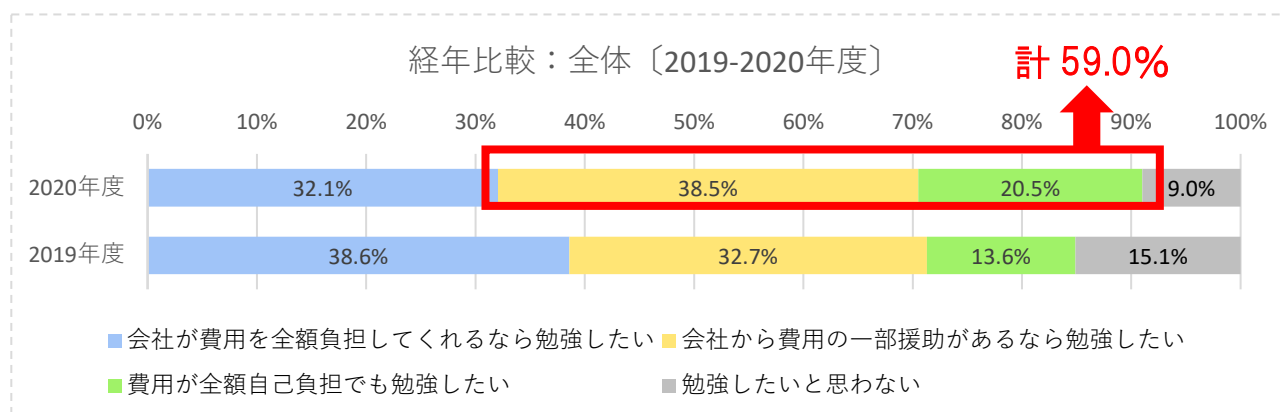
時差出勤についても75.9%が「利用したい」と答え、前年度に比べて22.1ポイント増となりました。さらに「どちらかといえば利用したい」と合わせると93.6%が利用を希望しています。

今年度は特に新型コロナウイルス感染拡大の防止策としてテレワークや時差出勤が広がり、それらに対する新入社員の関心が高まった様子が見えます。

また、副業に関しては、「利用したい」と「どちらかといえば利用したい」が共に38.0%で、合わせて76.0%が“利用したい”とし、前年度の計64.0%から12ポイント増となりました。

副業制度を“利用したい”理由として、「将来のために貯蓄したいから」（51.7%）、「趣味のために使いたいから」（46.7%）が3位の「日常の生活費に充てたいから」（26.7%）以下を大きく引き離してトップ2となりました。

◆費用を自己負担してでも“勉強したい”⇒59%

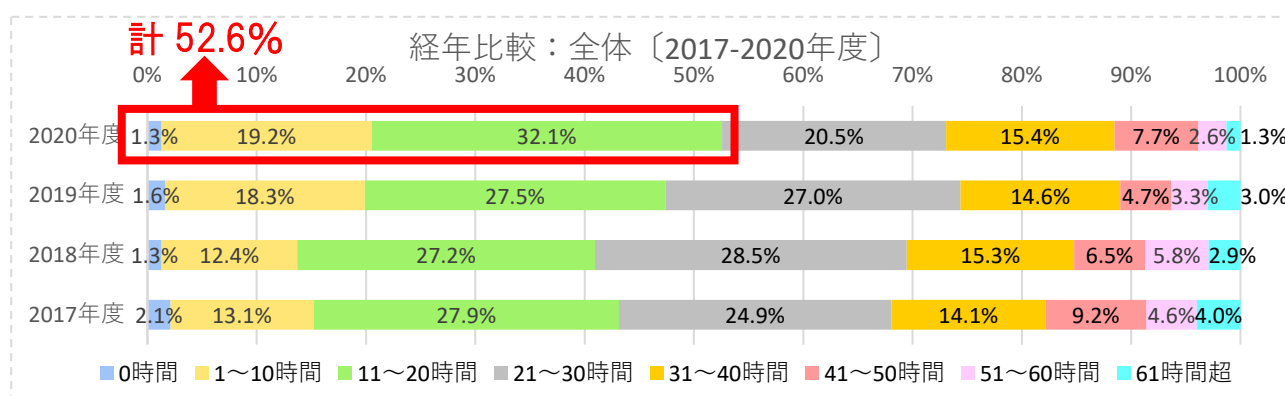


業務時間外でセミナーや通信教育、学校、自習などの勉強をしたいかを尋ねました。その結果、「費用は全額自己負担でも勉強したい」が20.5%で、前年度から6.9ポイント増えました。また、「会社から費用の一部援助があれば勉強したい」も38.5%で、前年度から5.8ポイント増えています。両者を合わせて、自己負担してでも“勉強したい”とする新入社員は59.0%（前年度比+12.7ポイント）となり、学びに対する積極的な姿勢が強まっています。

一方、「勉強したいと思わない」とする新入社員は9.0%にとどまり、前年度からは6.1ポイント減っています。

会社負担、自己負担に関わらず、勉強したいと思う理由としては、「ビジネススキルを磨きたいから」（53.6%）、「教養を深めたいから」（52.2%）、「担当業務や業界の知識を得たいから」（43.5%）がトップ3でした。

◆1か月に許容できる「残業時間」は“20時間”まで⇒約53%



1か月間にどの程度の残業時間なら許容できるかを尋ねると、「11～20時間」が過去最高の32.1%（対前年比+4.6ポイント）、「1～10時間」が同じく過去最高の19.2%（対前年比+0.9ポイント）となり、その結果、「0時間」（1.3%）と合わせ、20時間までの残業なら許容できるとする新入社員が52.6%と半数を超えました。働き方改革が唱えられる中、できれば残業を避けたいという意識が強くなってきています。

調査概要

1. 調査対象 産能マネジメントスクール主催の新入社員セミナー参加者
2. 調査時期 2020年3月26日～4月7日
3. 調査方法 書面アンケートによる回答肢選択方式
4. 有効回答 79人（男性50人・63.3％／女性29人・36.7％）
5. 所属企業プロフィール

(従業員数)	100人未満	16人	(20.3%)
	100人以上 500人未満	39人	(49.4%)
	500人以上 1,000人未満	20人	(25.3%)
	1,000人以上	4人	(5.1%)
		79人	
(上場区分)	上場企業	11人	(13.9%)
	非上場企業	47人	(59.5%)
	企業以外の法人・団体	10人	(12.7%)
	未回答	11人	(13.9%)
		79人	
(企業所在地)	北海道	0人	(0.0%)
	東北	0人	(0.0%)
	関東	63人	(79.7%)
	中部	5人	(6.3%)
	近畿	10人	(12.7%)
	中国	0人	(0.0%)
	四国	0人	(0.0%)
	九州	1人	(1.3%)
	その他	0人	(0.0%)
		79人	

※「データ集」における経年比較は、その質問を開始した年度以降のデータをすべて記載しています。

**2020年度 新入社員の会社生活調査
調 査 結 果**

1. 就職

- ・就職活動「かなり大変だった」 ⇒ 35%／過去最高（2011年度と同率）
- ・就職の結果には「たいへん満足」 ⇒ 28%／過去最低
- ・就職先選びのポイントは「業種」 ⇒ 62%

1－1. 就職活動を振り返って

2020年度入社の新入社員に就職活動を振り返ってもらったところ（P. 13／問1）、「かなり大変だった」は35.4%、「思ったより大変だった」は36.7%で、合わせて72.1%が“大変だった”と回答し、前年度から3.6ポイント増加しました。「かなり大変だった」は前年度比11.8ポイントの増加で、2011年度（東日本大震災の年）と並び、過去最高となりました。近年、大変だったとする回答が減りつつありましたが、今年度の新入社員の就職環境は厳しかった様子がうかがえます。

1－2. 就職活動の満足度

こうした厳しい環境での『就職活動の満足度』（P. 14／問2）は、「たいへん満足」が27.8%で、前年度から20ポイント近く下げ、就職氷河期だった1995年度の29.6%を抜き過去最低を記録しました。

1－3. 就職先選び

『就職先を選ぶ際に重視した点』（P. 15／問3）は、「業種」が最も高く62.0%、「職務内容」と「福利厚生」が並んで50.6%となり、いずれも半数を超えてトップ3となっています。

さらに「給与水準」（44.3%）が続き、5番目には「企業風土」と「ブラック企業でない」ことが共に32.9%で並びました。

2. キャリア・働き方

- ・働く上で重要なこと 「仕事を通じて自分自身が成長すること」 ⇒ 62%
- ・働き始めるにあたって不安なこと 「自分の能力で仕事をやっていけるか」 ⇒ 63%
- ・説明や指導を受けたい相手 経営方針 ⇒ 「社長」「役員」
実 務 ⇒ 「先輩社員」「係長クラス」
マ ナ ー ⇒ 「先輩社員」「部長クラス」

2-1. 働く上で重要なこと

『働く上で重要だと思うこと』(P. 16/問4)は、「仕事を通じて自分自身が成長すること」(61.5%)が前年度同様に最も多くなっています。2位は前年度の3位から順位を1つ上げて「仕事内容に見合う報酬が得られること」(46.2%)、3位は前年度の2位から順位を1つ下げて「長期間、安心して働けること」(41.0%)となりました。

経年で比較すると、「仕事を通じて自分自身が成長すること」と「仕事内容に見合う報酬が得られること」は過去最高でした。その他、「自分の意思で仕事に取り組めること」(26.9%)も過去最高でした。

一方、「長期間、安心して働けること」は、前年度(54.8%)から13.8ポイント減って過去最低となりました。その他、「他のメンバーと協力して働くこと」(25.6%)も過去最低でした。

2-2. 働き始めるにあたって不安なこと

『働き始めるにあたり、不安に思っていること』(P. 17/問5)は、前年度2位だった「自分の能力で仕事をやっていけるか」(63.3%)がトップでした。これと2位の「上司・先輩とうまくやっていけるか」(51.9%)が3位以下を大きく引き離しています。

経年で比較すると、前年度トップだった「上司・先輩とうまくやっていけるか」は、前年度から15.7ポイント減少して過去最低となりました。また、「心身を壊すことがないか」(25.3%)も前年度から10.4ポイント減少して過去最低となっています。

一方、前年度6位だった「この組織で成長できるか」(30.4%)は、前年度(15.6%)から倍増して過去最高となり、順位も3位にアップしました。

2-3. 指導や説明を受けたい相手

『会社のどのような立場の人に指導や説明を受けたいか』(P. 18/問6)を『A. 会社の経営方針や将来性』、『B. 仕事での実務』、『C. 仕事上のマナー』のそれぞれについて質問しました。

その結果、『A. 会社の経営方針や将来性』は、「社長」が57.7%で一番多く、続いて「役員」(21.8%)で、会社のトップクラスから受けたいとしています。

『B. 仕事での実務』は、「先輩社員」が62.0%で、「係長クラス」が20.3%で続き、自分に近い人から受けたいとしています。

『C. 仕事上のマナー』も「先輩社員」が68.4%と最も高くなりました。

- ・ 将来のキャリア ⇒ エキスパート志向がやや後退
- ・ 目標とする地位 ⇒ 「社長」が過去最低

2-4. 将来のキャリア

『将来のキャリアについてどのように考えているか』（P. 19／問7）については、「管理職として部下を動かし、部門の業績向上の指揮を執る」が47.4％でトップとなりました。

前年度トップだった「役職には就かず、担当業務のエキスパートとして成果を上げる」（37.2％）は、前年度（46.2％）より9ポイント減り、過去最低となりました。エキスパート志向がやや後退しています。

2-5. 目標とする地位

『目標とする役職・地位』（P. 20／問8）については、「社長」（8.9％／前年度比－1.9ポイント）が過去最低となったものの、「役員」（20.3％／前年度比＋5.0ポイント）、「部長クラス」（20.3％／昨年度比＋0.5ポイント）は増加しています。「課長クラス」（5.1％／昨年度比－2.4ポイント）、「係長クラス」（1.3％／昨年度比－2.5ポイント）は、低下しました。

- ・ 1か月に許容できる残業時間 ⇒ 「20時間まで」 53％
- ・ 各種制度 「利用したい」
 - ⇒ 副業 76％（前年度比＋12ポイント）
 - ⇒ テレワーク 85％（前年度比＋27ポイント）
 - ⇒ 時差出勤 94％（前年度比＋10ポイント）

2-6. 許容できる残業時間

『1か月の残業時間は、何時間程度許容できるか』（P. 21／問9）について、時間単位で選択してもらいました。その結果、「11～20時間」（32.1％）が最も多く、「1～10時間」（19.2％）とともに、調査開始の2017年度から共に過去最高となりました。その結果、「0時間」（1.3％）を加えた「0～20時間」は52.6％となり、初めて半数を超えました。

2-7. 各種制度

『会社に次の制度があった場合、どの程度利用したいか』（P. 22／問10）として、『A. 副業』、『B. テレワーク』、『C. 時差出勤』の3つについて質問しました。

『A. 副業』は、「利用したい」と「どちらかといえば利用したい」がいずれも38.0％で、合わせて76.0％が“利用したい”と答えました。これは、前年度からは12.0ポイント、2018年度からは19.4ポイント増加しています。

『B. テレワーク』については、「利用したい」（60.8％）と「どちらかといえば利用したい」（24.1％）を合わせた84.9％が“利用したい”と答えました。特に「利用したい」は、前年度（35.2％）から25.6ポイントの大幅増となっています。

『C. 時差出勤』についても、「利用したい」（75.9％）と「どちらかといえば利用したい」（17.7％）を合わせて93.6％が“利用したい”と答え、9割を超えました。こちらも「利用したい」は、前年度（53.8％）から22.1ポイントの大幅増になっています。

2-8. 副業をしたい理由・したくない理由

問10で『A. 副業を利用したい』と答えた人に理由を尋ねたところ（P23／問11）、「将来のために貯蓄したい」が半数超の51.7％で一番多く、次が「趣味のために使いたい」（46.7％）でした。

この2つは、3位の「日常の生活費に充てたいから」（26.7％）を大きく引き離しています。

また、『副業を利用したくないとする理由』（P23／問12）は、「本業に専念したいから」が42.1％、「時間的に難しそうだから」が36.8％、「副業より趣味を優先したいから」が21.1％という結果になりました。

・業務時間外の勉強	費用を自己負担しても“勉強したい”	⇒59％
・勉強したい理由	「ビジネススキルを磨きたいから」	⇒54％
	「教養を深めたいから」	⇒52％

2-9. 業務時間外での勉強

『業務時間外で勉強（セミナー、通信教育、学校、自習など）したいと思いますか』（P.24／問13）について尋ねました。「会社から費用の一部援助があるなら勉強したい」が38.5％（対前年比＋5.8ポイント）で一番多く、「費用が全額自己負担でも勉強したい」とする新入社員の20.5％（対前年比＋6.9ポイント）と合わせて、費用を自己負担しても勉強したい新入社員は59.0％となり、昨年度から12.7ポイント増えました。

一方、「勉強したいと思わない」（9.0％）は、前年度（15.1％）から6.1ポイント減りました。勉強への意欲が高まっている様子がうかがえます。

また、問13で費用の援助の有る無しに関わらず“勉強したい”とする回答者にその理由を質問したところ（P.25／問14）、「ビジネススキルを磨きたいから」が53.6％でトップでした。次いで僅差で「教養を深めたいから」（52.2％）が続き、3位の「担当業務や業界の知識を得たいから」（43.5％）までの順位は前年度と同様になりました。

さらに“勉強したい”とする回答者に『勉強はいつしたいと思いますか』（P.26／問15）を質問したところ、「退勤後（夜活など）」が67.6％、「休日」が62.0％、「通勤中（電車の中など）」が54.9％でした。この内、「通勤中（電車の中など）」は前年度（36.0％）から大幅に増えています。

3. 待遇・雇用制度

- ・いつまで働きたいか ⇒ 「50代（早期優遇退職）」が増加
- ・退職後には「趣味の時間を楽しむ」 ⇒ 79%
- ・公的年金（国民年金・厚生年金等）には「期待していない」 ⇒ 77%
- ・35歳時点の理想の年収額 ⇒ 608万円

3-1. 定年

『いつまで被雇用者（会社勤めなど）として働きたいか』（P. 27／問16）を尋ねたところ、「60歳」と回答した人が44.3%（昨年度比+1.2ポイント）で、3年連続で最多となりました。前年度から大きく増えたのは「50代（早期優遇退職）」（16.5%）で、前年度（10.1%）から6.4ポイント増加しています。

3-2. 退職後

『前問の年代で退職した後にやりたいことは』（P. 28／問17）を聞くと、「趣味の時間を楽しむ」が78.5%で最も多く、2位「資産運用などで生計を立てる」（31.6%）以下を大きく引き離しています。経年比較では、2位の「資産運用などで生計を立てる」が、前年度（18.9%）から12.7ポイント増加しています。

3-3. 公的年金

『将来支給される公的年金（国民年金・厚生年金等）を老後の収入として期待しているか』（P. 29／問18）を尋ねたところ、「期待していない」（35.4%）と「どちらかといえば期待していない」（41.8%）を合わせた77.2%が“期待していない”としています。“期待していない”という答えは年々増加し、前年度から8.9ポイント、2018年度からは15.0ポイント増えています。

3-4. 人事制度

『年功序列と成果主義のどちらを望むか』（P. 30／問19）を二者択一で尋ねた結果、「成果主義」が59.0%、「年功序列」が41.0%となりました。成果主義を望む声は前年度（56.4%）よりも2.6ポイント増えています。

また、『終身雇用制度を望むか』（P. 31／問20）では、「望む」が64.9%、「望まない」が35.1%となりました。依然として望む声が多数を占めています。

3-5. 理想の年収額

『35歳時点での理想の年収額』（P. 32／問21）について、金額を自由に回答してもらったところ、「500万円～600万円未満」が一番多く25.4%を占めました。加重平均値を算出したところ、全体では「608万円（6,088,735円）」で、昨年度とほぼ同額でした。

4. コミュニケーション

- ・使いやすい上司への報告・連絡手段は「口頭」 ⇒ 39%
- ・使いやすいお客様への報告・連絡手段は「メール」 ⇒ 47%
- ・業務での自信のないコミュニケーションは「電話対応（社外）」 ⇒ 82%

4-1. 上司やお客様への報告・連絡手段

『上司への報告や連絡手段として最も使いやすいもの』（P. 33／問22）を尋ねました。トップ3は、「口頭」（39.0%）、「メール」（24.7%）、「LINE」（19.5%）でした。

一方、『お客様への報告や連絡手段として最も使いやすい』（P. 33／問23）ものを尋ねたところ、トップ3は「メール」（47.4%）、「電話」（28.2%）、「口頭」（19.2%）の順でした。上司で3位だった「LINE」はわずか2.6%でした。

4-2. コミュニケーションで自信がないこと

『業務でのコミュニケーションで自信がない（不安がある）のはどれか』（P. 34／問24）という問いでは、「電話対応（社外）」が82.1%でトップでした。続く「対話・面談（社外）」（64.1%）、「ビジネス文書の作成」（60.3%）、「電話対応（社内）」（51.3%）までが半数を超えました。

5. 通勤時間の活用

- ・通勤の往復時間の活用は、行き帰りとも1位「音楽を聴く」、2位「眠る」
- ・情報収集、行きは「ニュースの検索」、帰りは「SNS」

5-1. 通勤の往復時間活用

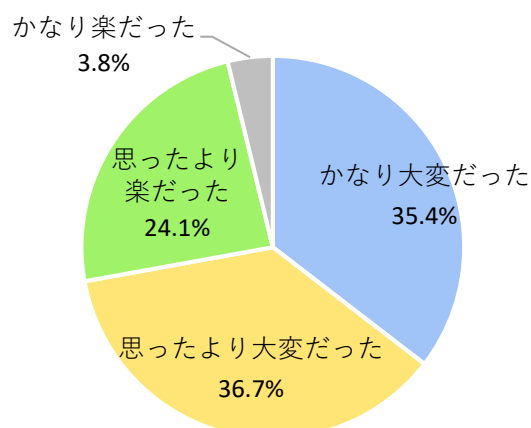
『通勤の行き帰りの時間を使って、どのようなことをしたいか』（P. 35・P. 36／問25）について尋ねました。『A. 行き』、『B. 帰り』ともに「音楽を聴く」（行き：40.3%／帰り：54.2%）ことと「眠る」（行き：35.1%／帰り：34.7%）が1位と2位を占めました。『A. 行き』で3位の「ニュースの検索」（31.2%）は、『B. 帰り』では8.3%で9位です。

逆に『A. 行き』で7位の「SNSの確認やアップロード」（13.0%）は、『B. 帰り』では27.8%で4位です。新入社員の生活様式が垣間見えます。

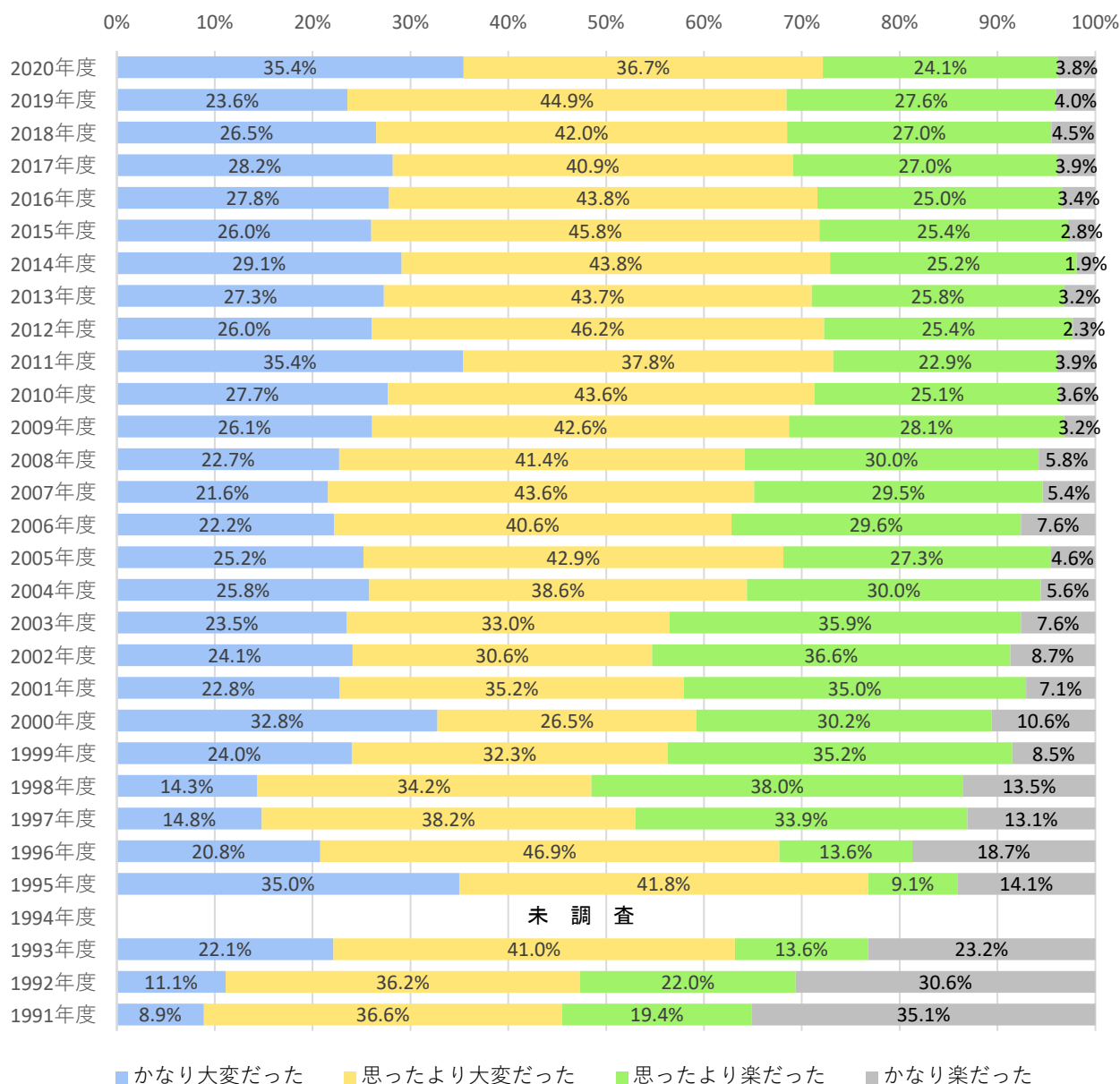
**2020年度 新入社員の会社生活調査
データ集**

問1. 就職活動を振り返って、どのように感じましたか？（1つ選択）

(n=79)

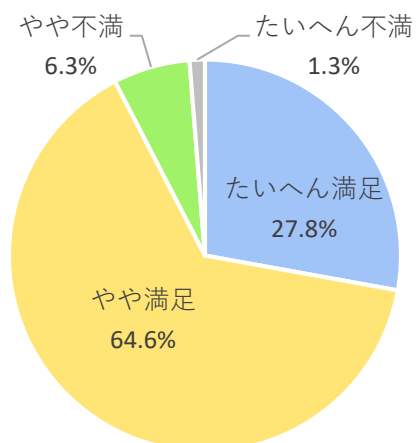


経年比較：全体〔1991-2020年度〕

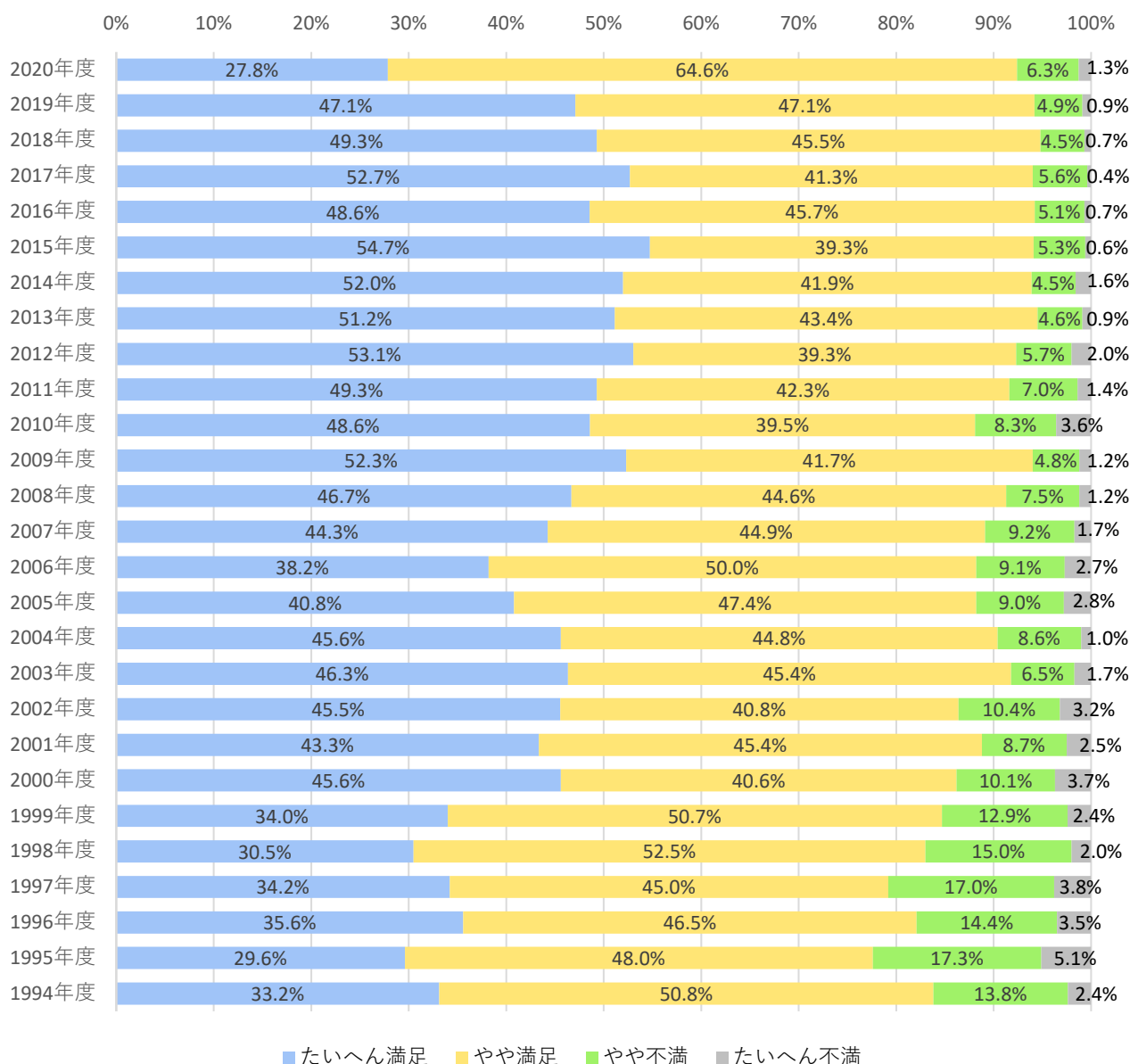


問2. 就職活動の結果に満足していますか？（1つ選択）

(n=79)

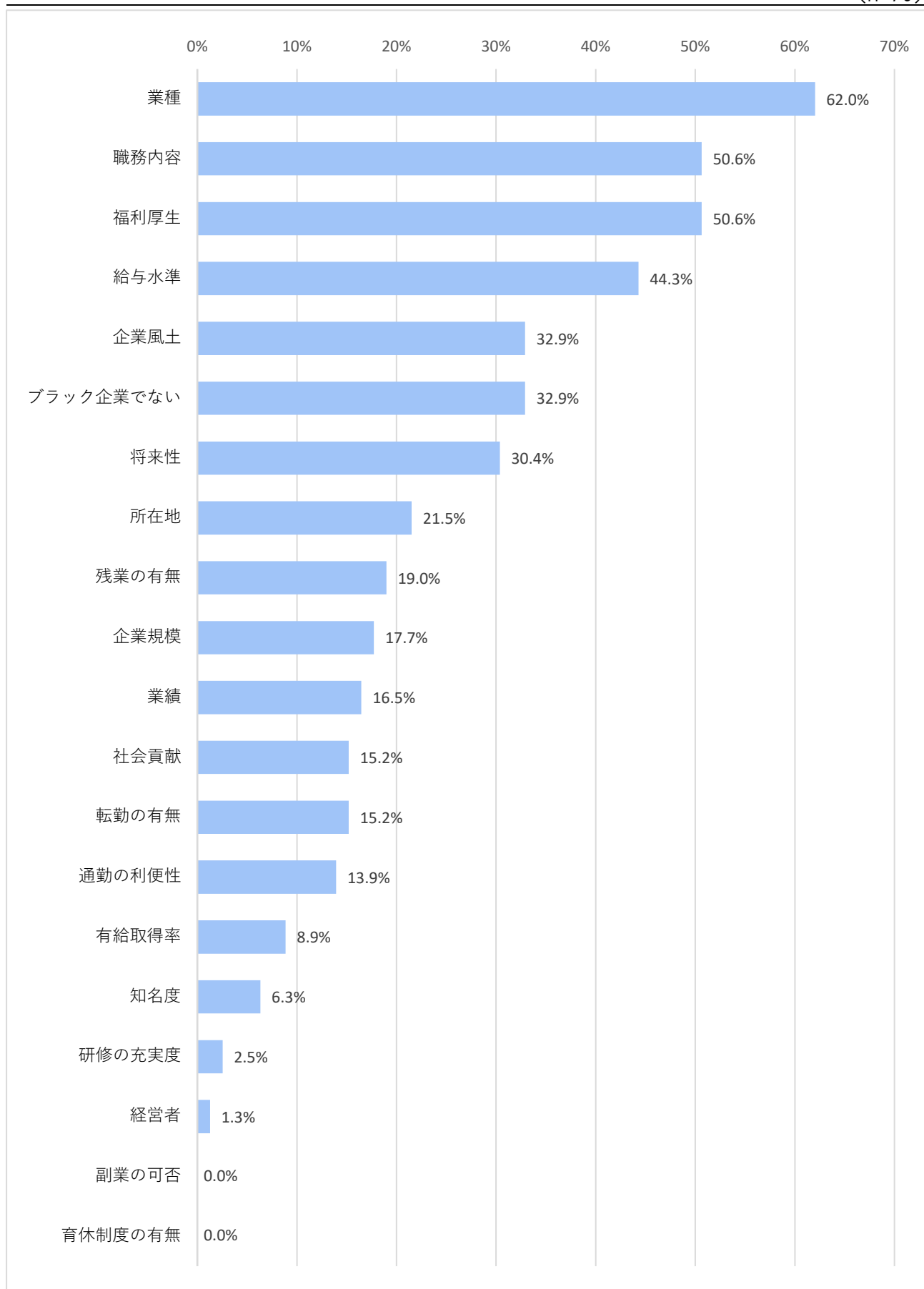


経年比較：全体〔1994-2020年度〕



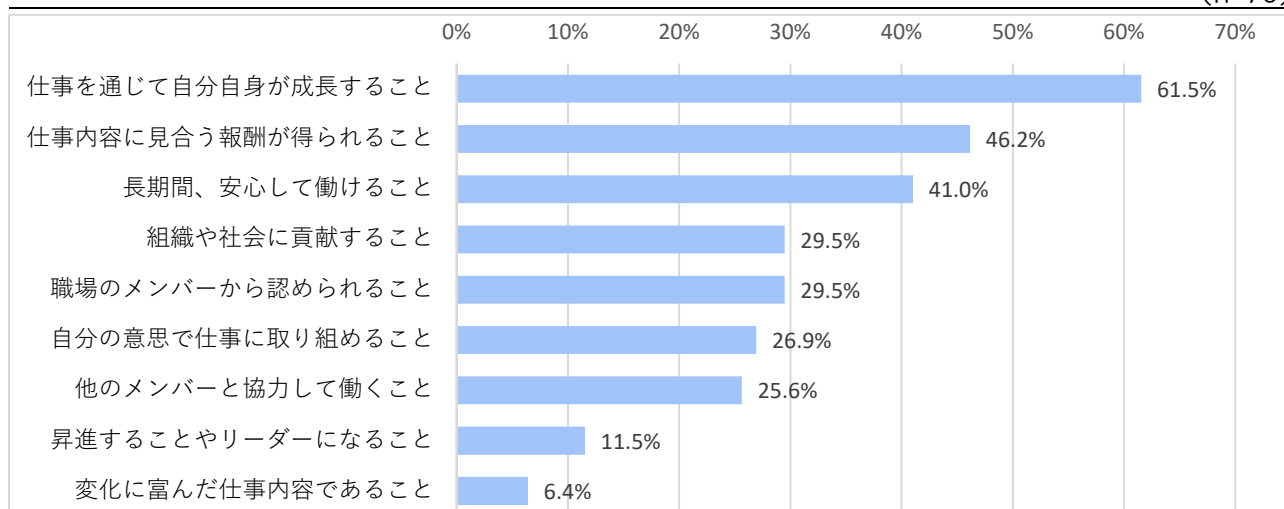
問3. 就職先を選ぶ際に重視した点はなんですか？（5つまで選択可）

(n=79)

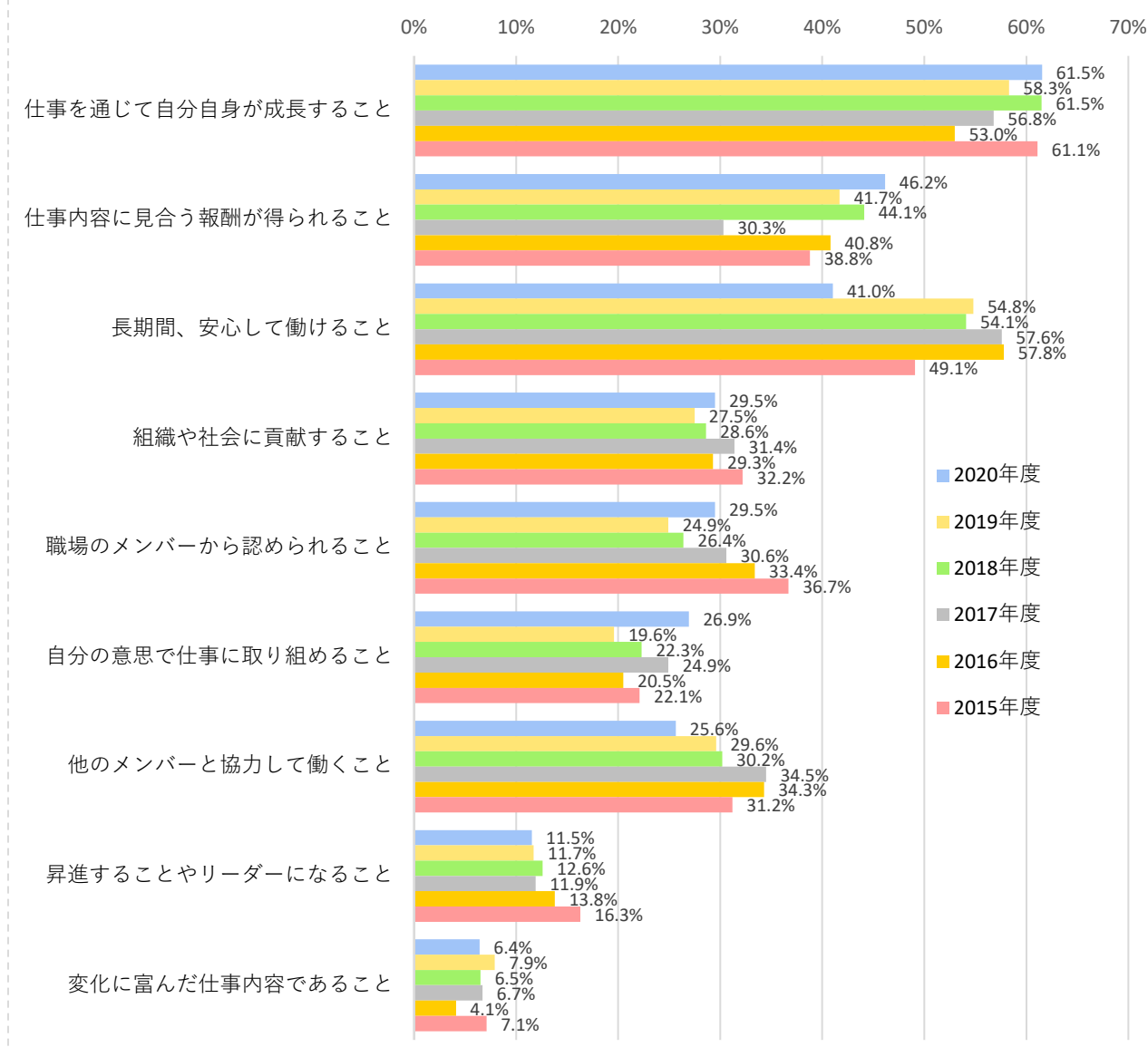


問4. あなたは「働く」上で、どのようなことが自分にとって重要だと感じますか？
（3つまで選択可）

(n=78)

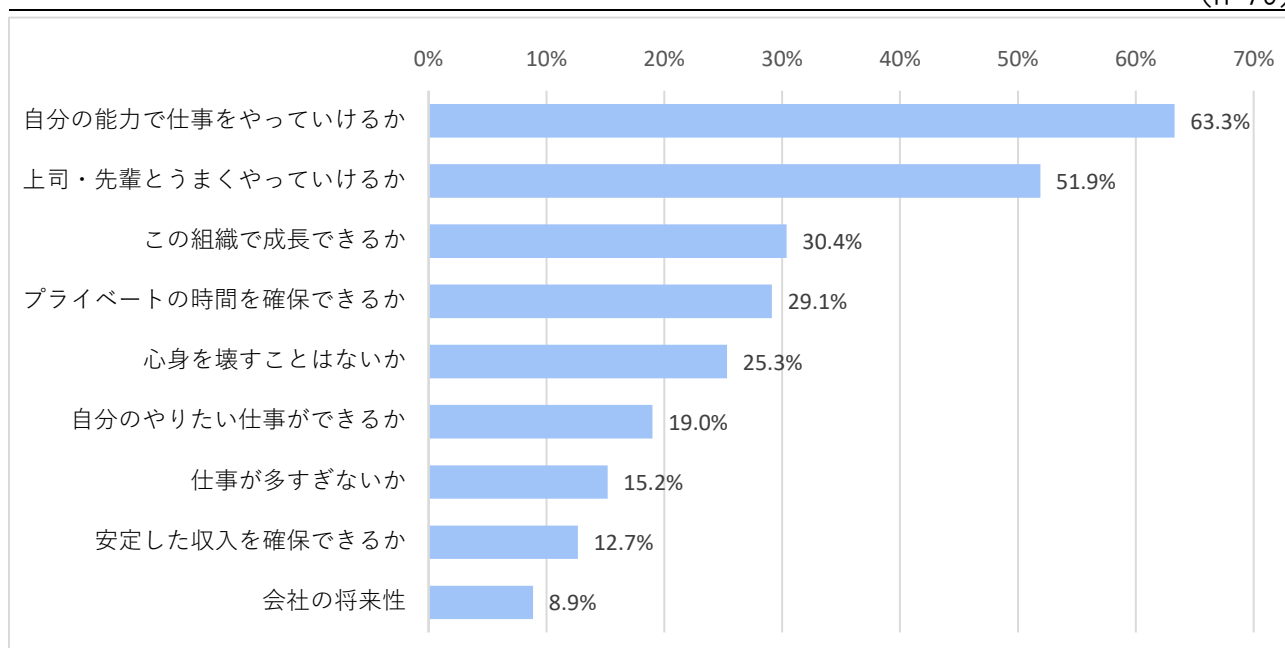


経年比較：全体〔2015-2020年度〕

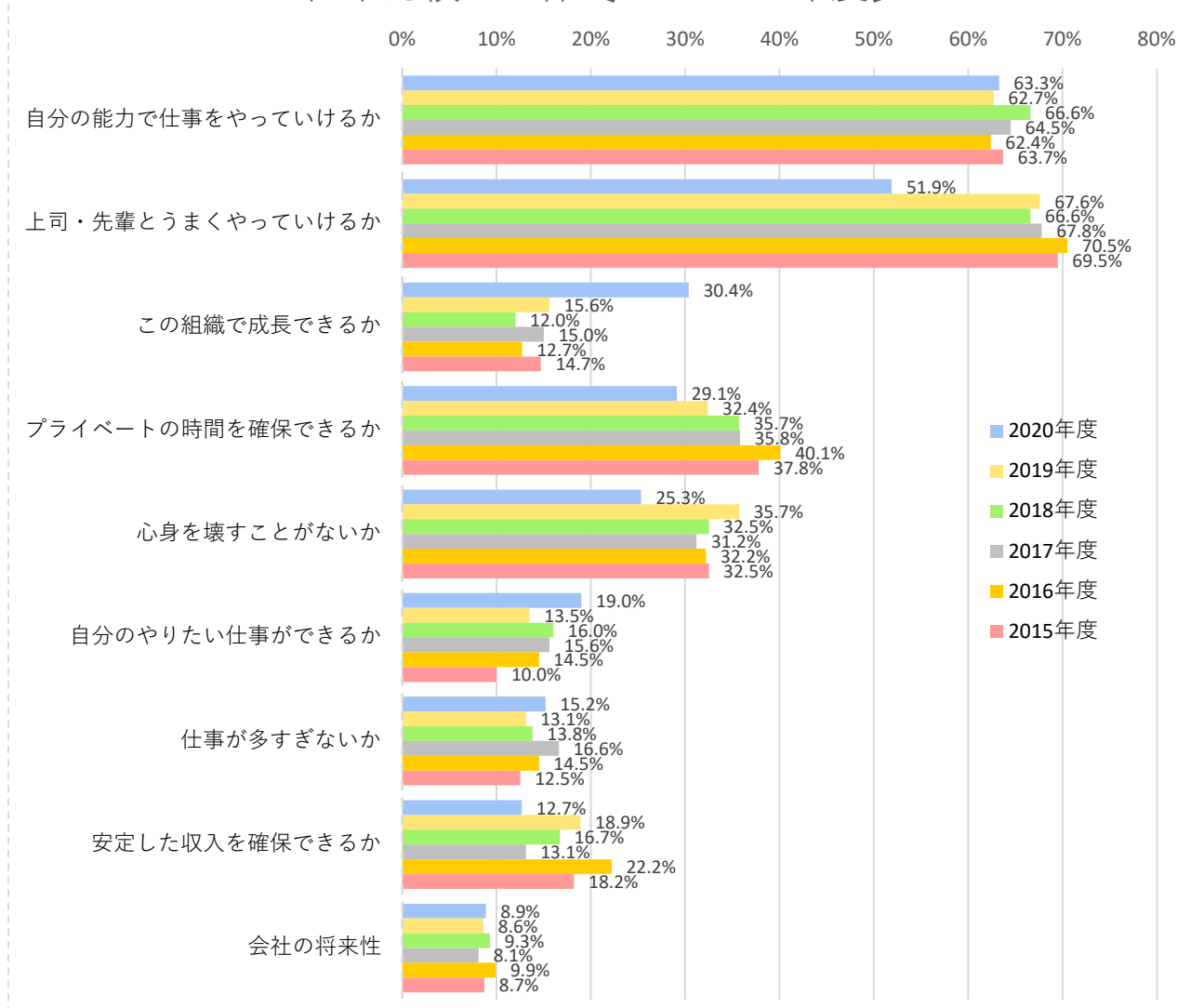


問5. 働き始めるにあたって、不安に思っていることは何ですか？（3つまで選択可）

(n=79)



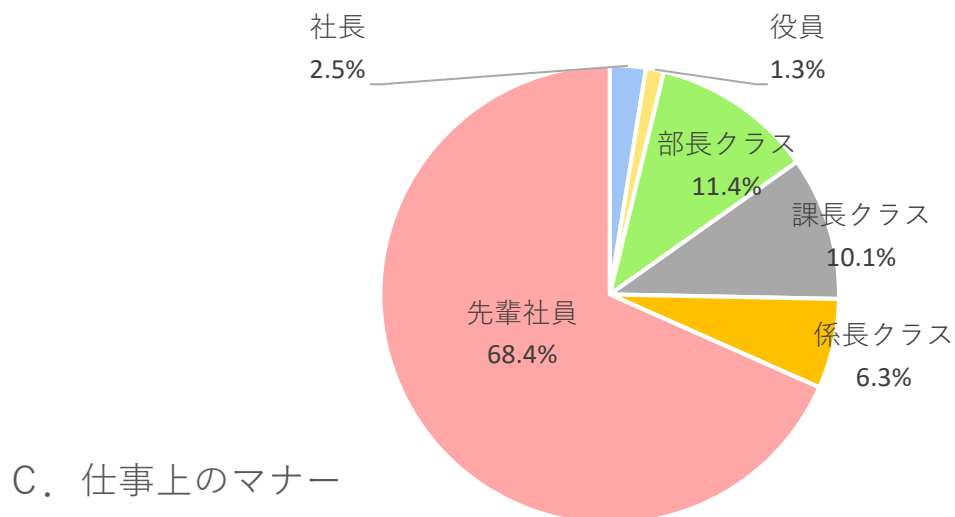
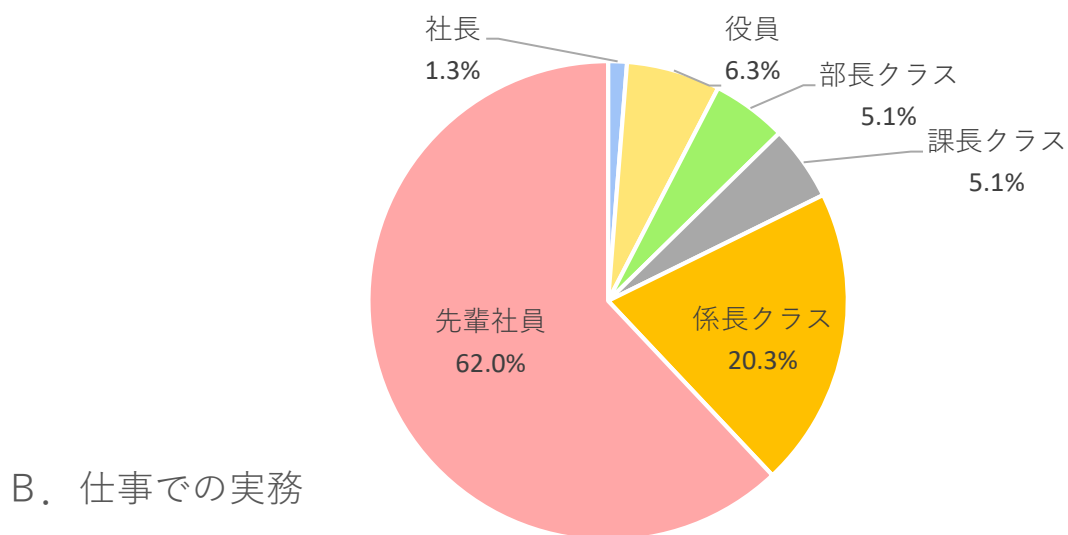
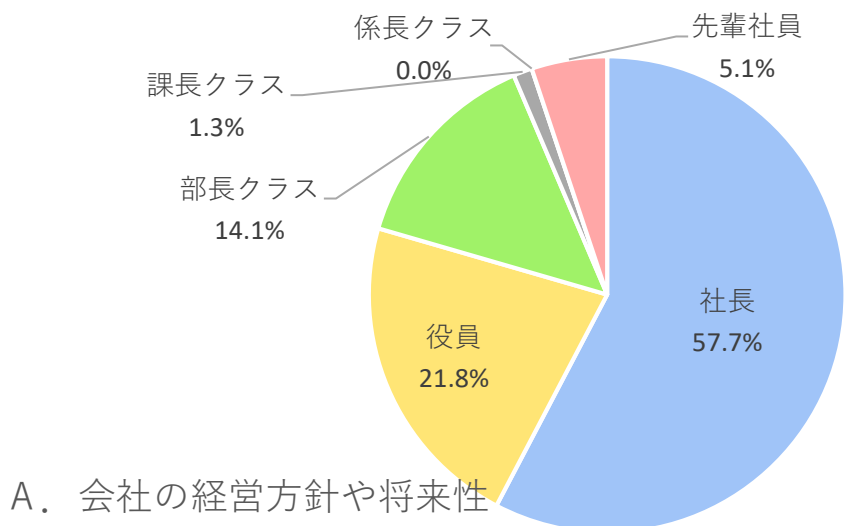
経年比較：全体〔2015-2020年度〕



問6. 次のA～Cについて、会社のどのような立場の人に指導や説明を受けたいと思いますか？（各1つ選択）

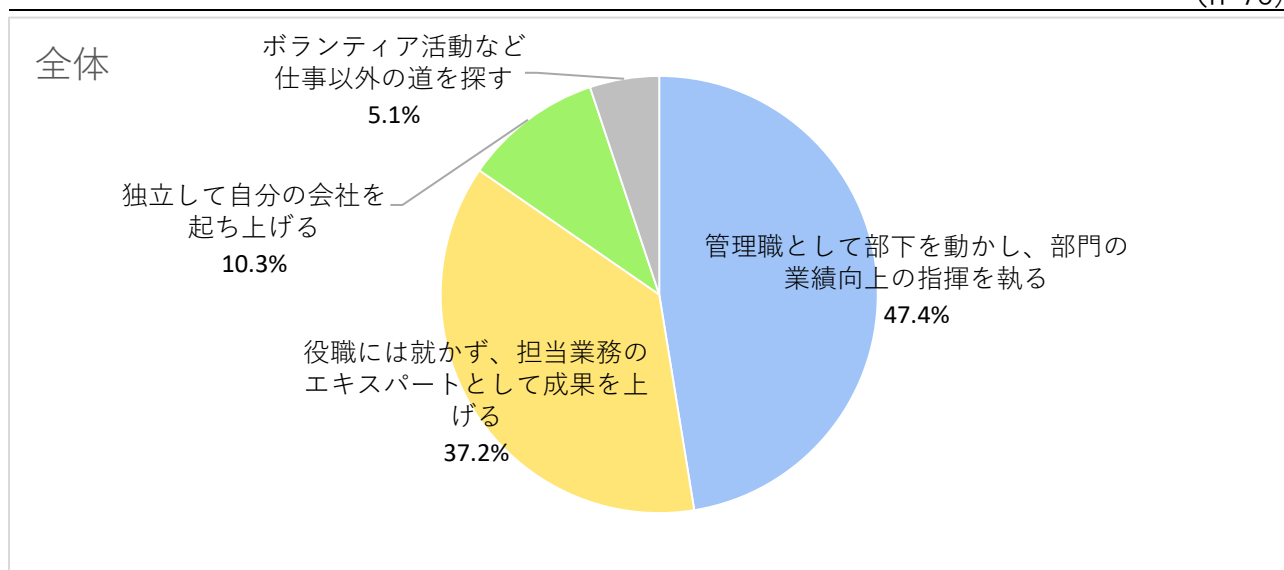
A. 会社の経営方針や将来性 / B. 仕事での実務 / C. 仕事上のマナー

（A. n=79/B. n=79/C. n=79）

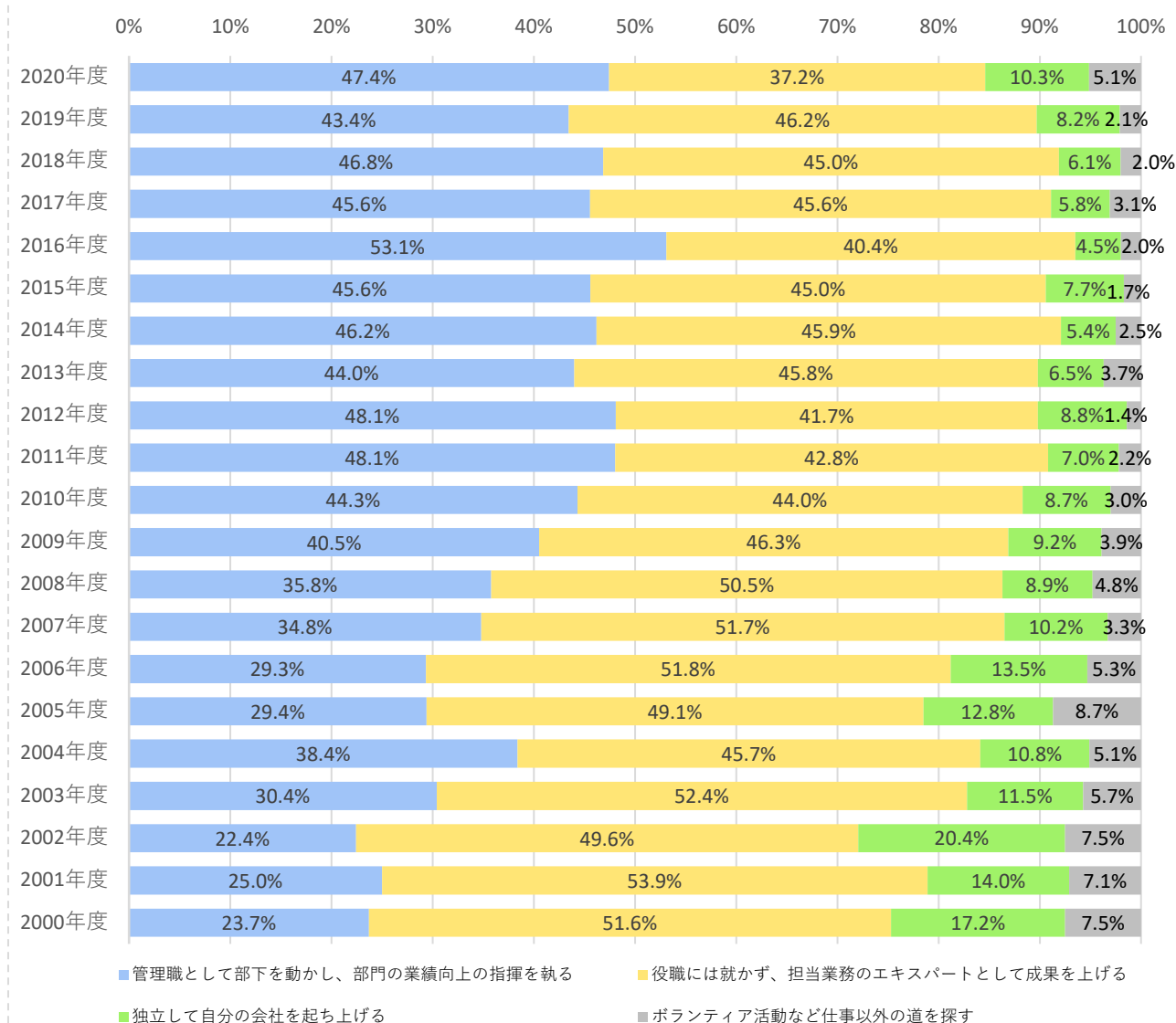


問7. 将来のキャリアについてどのように考えています？（1つ選択）

(n=78)



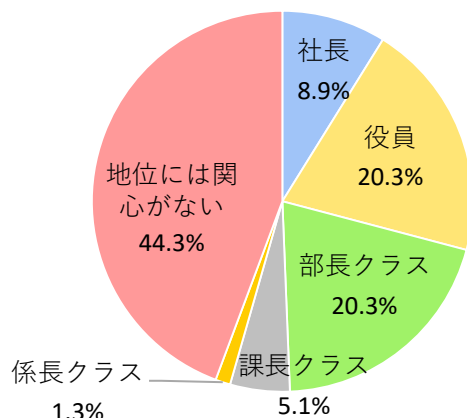
経年比較：全体〔2000-2020年度〕



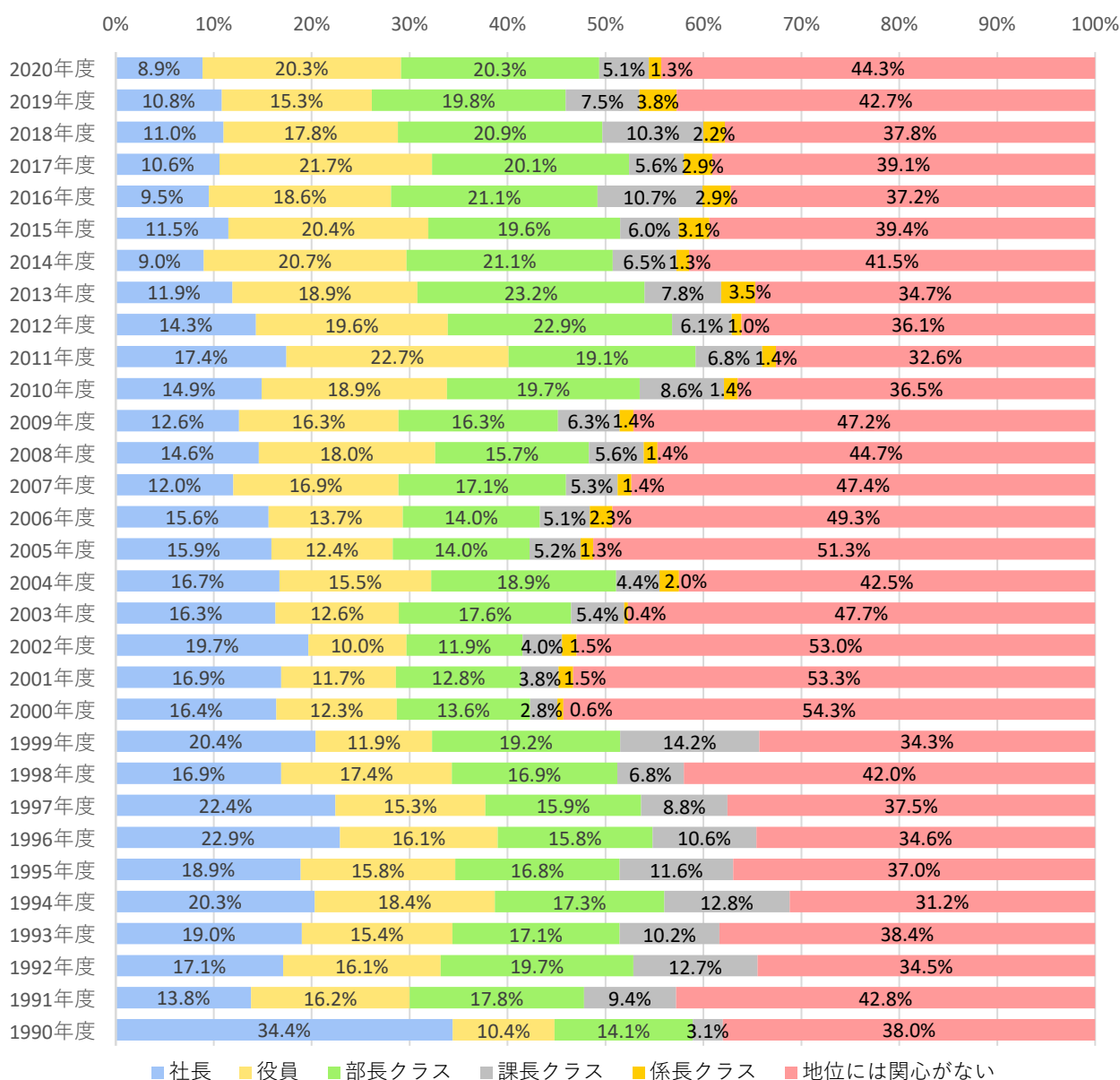
問8. あなたが目標とする役職・地位は？（1つ選択）

(n=79)

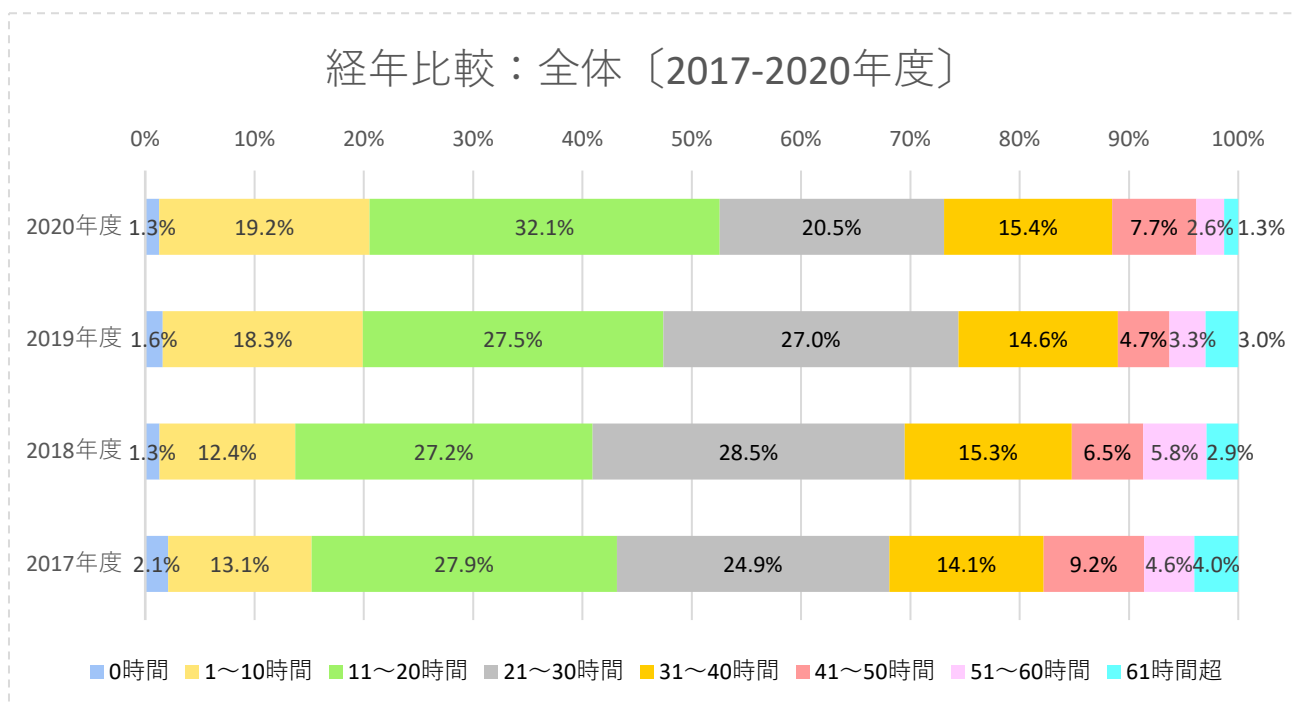
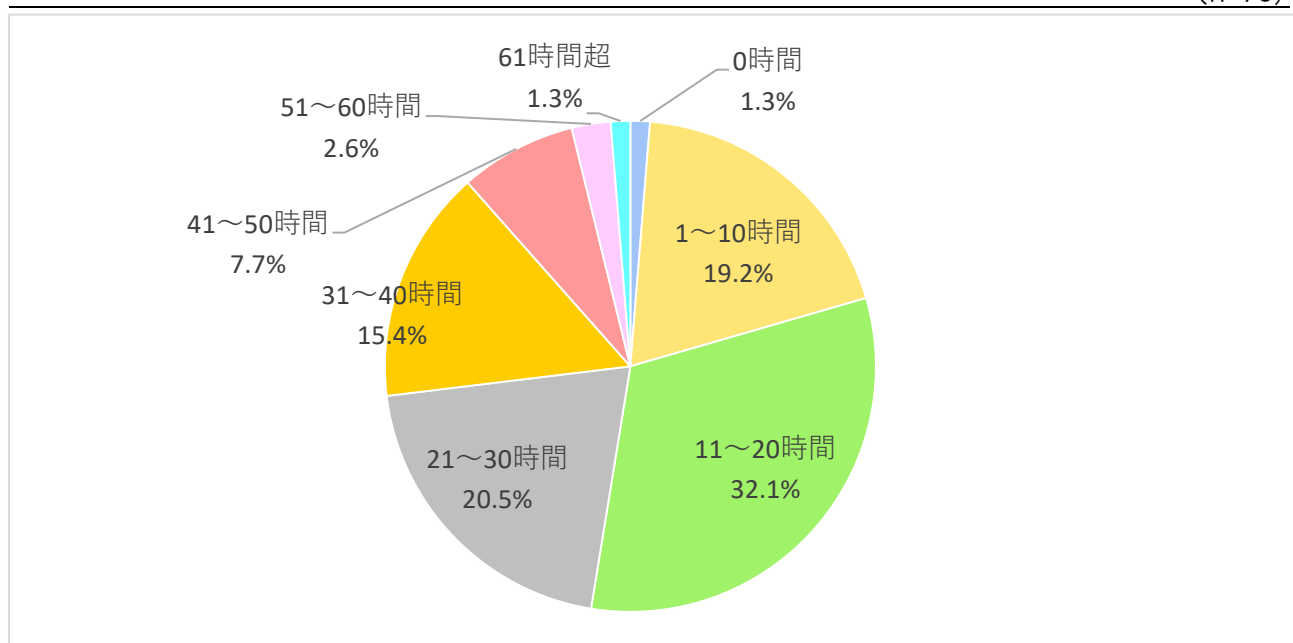
全体



経年比較〔1990-2020年度〕 ※2000年度から選択肢に「係長クラス」を追加



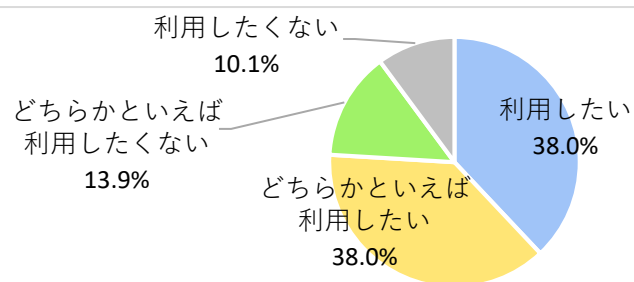
問9. 1か月の残業時間について、あなたは何時間程度なら許容できますか？（1つ選択）
 (n=78)



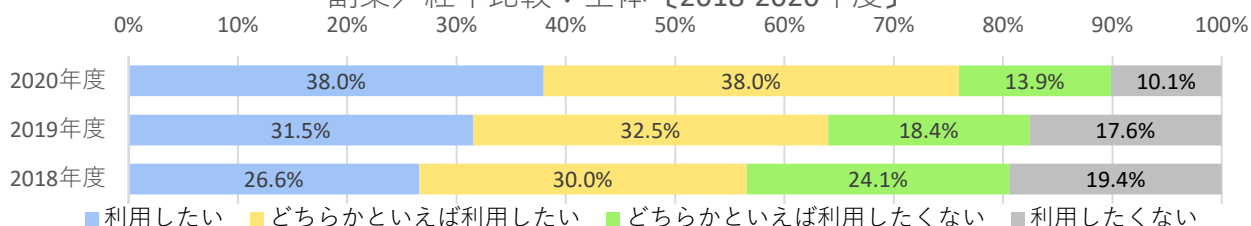
問10. 会社に以下の制度があった場合、どの程度利用したいと思いますか？（各1つ選択）

（A. n=79/B. n=79/C. n=79）

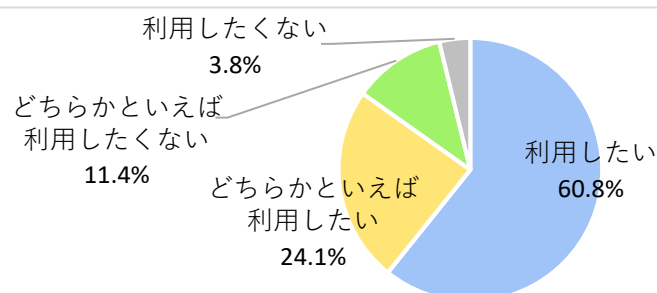
A. 副業



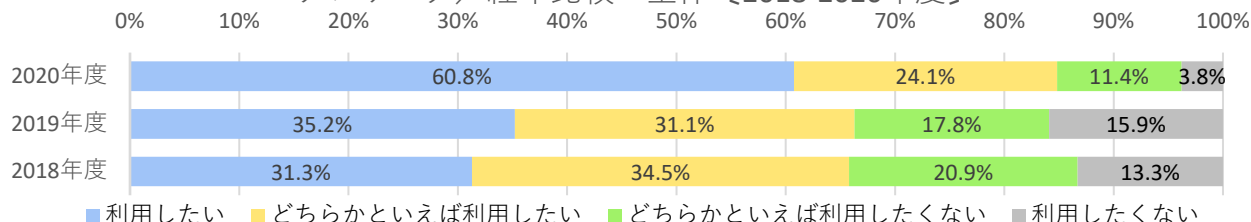
副業／経年比較：全体【2018-2020年度】



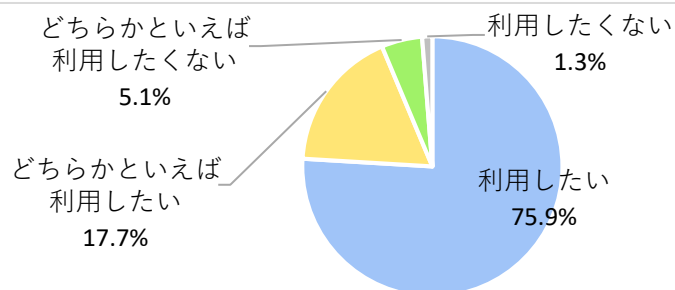
B. テレワーク



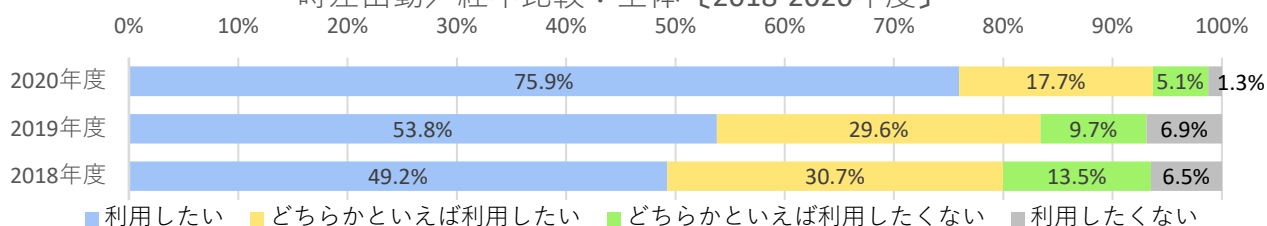
テレワーク／経年比較：全体【2018-2020年度】



C. 時差出勤

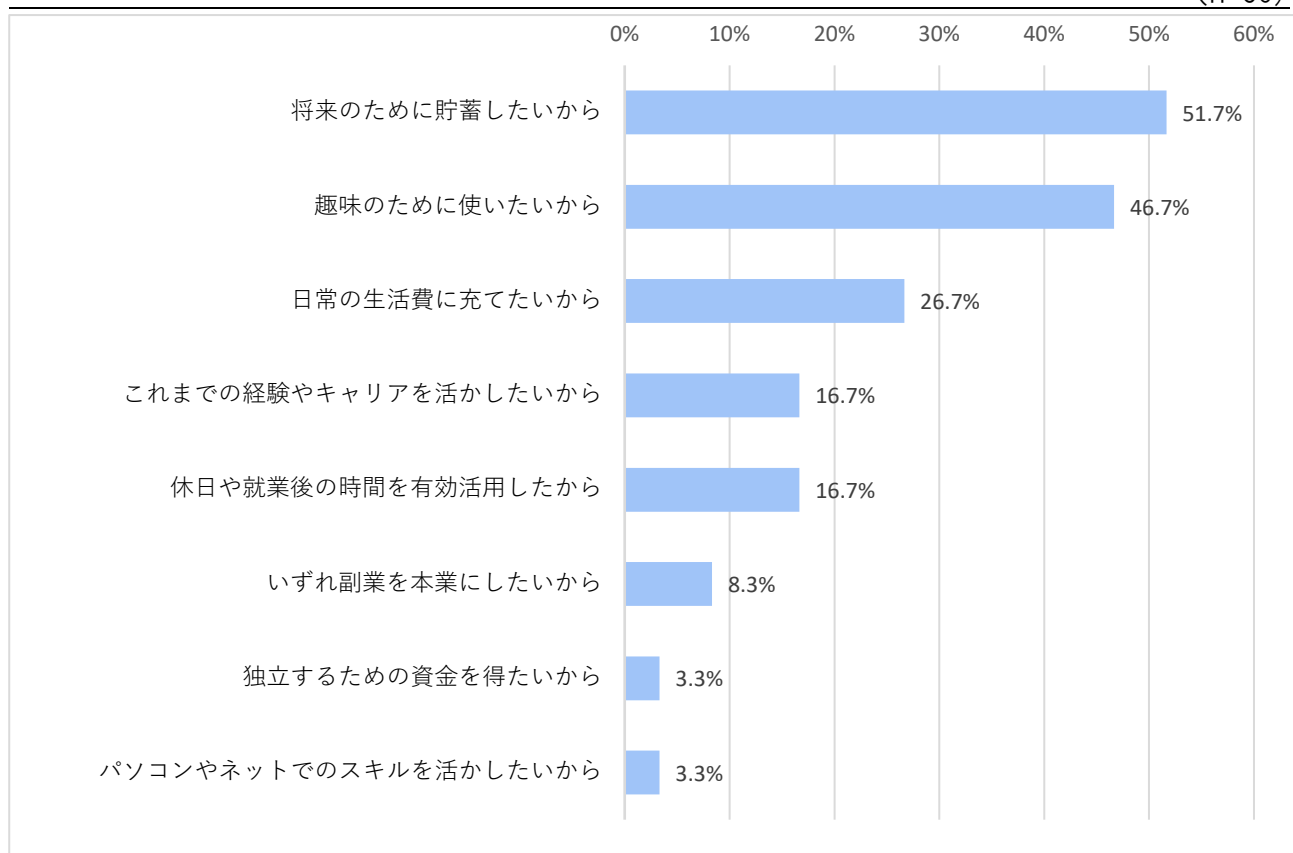


時差出勤／経年比較：全体【2018-2020年度】



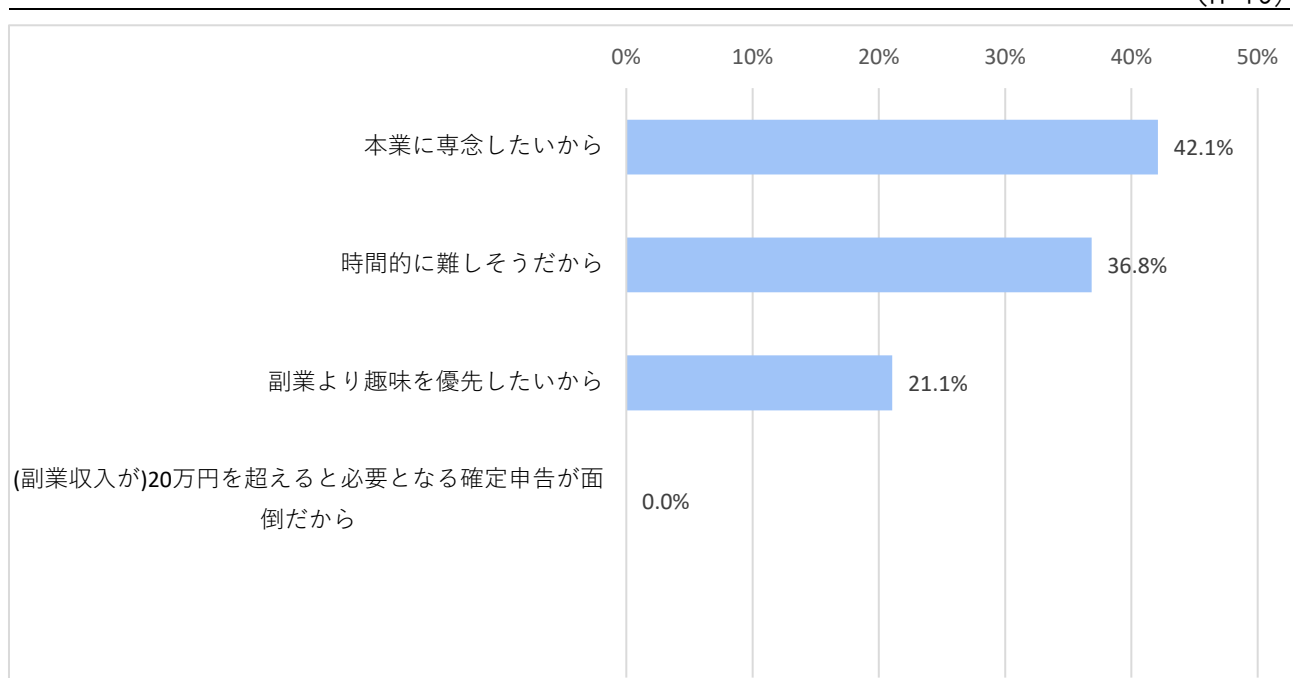
問11. 【問10のA. 副業で1または2を回答した方へ】副業をしたい理由はどれですか？
（2つまで選択可）

(n=60)



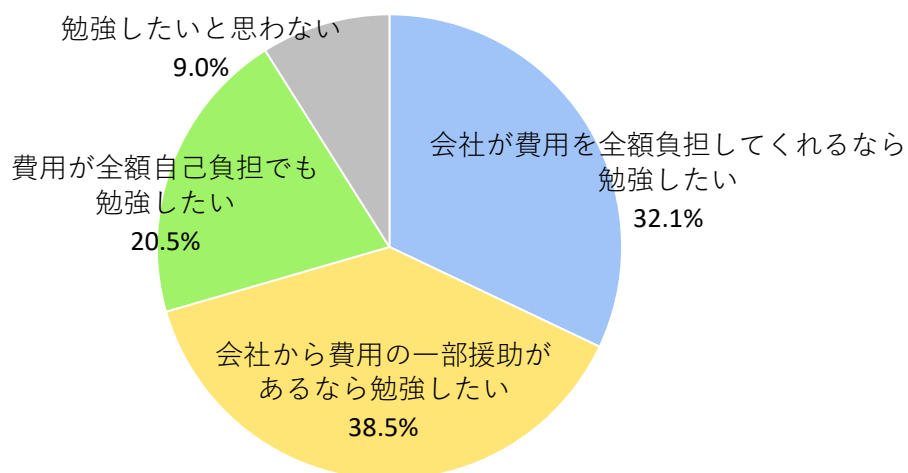
問12. 【問10のA. 副業で3または4を回答した方へ】副業をしたくない理由はどれですか？
（1つ選択）

(n=19)

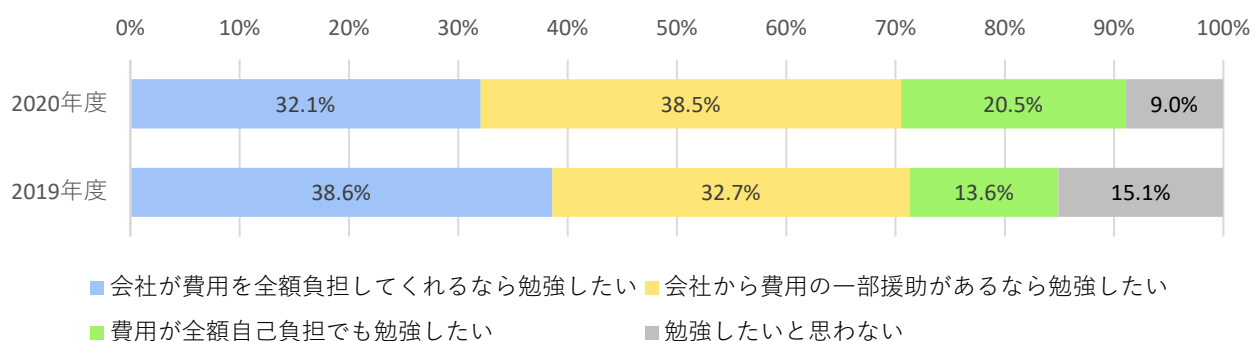


問13. 業務時間外で勉強（セミナー、通信教育、学校、自習など）したいと思いますか？
（1つ選択）

(n=78)

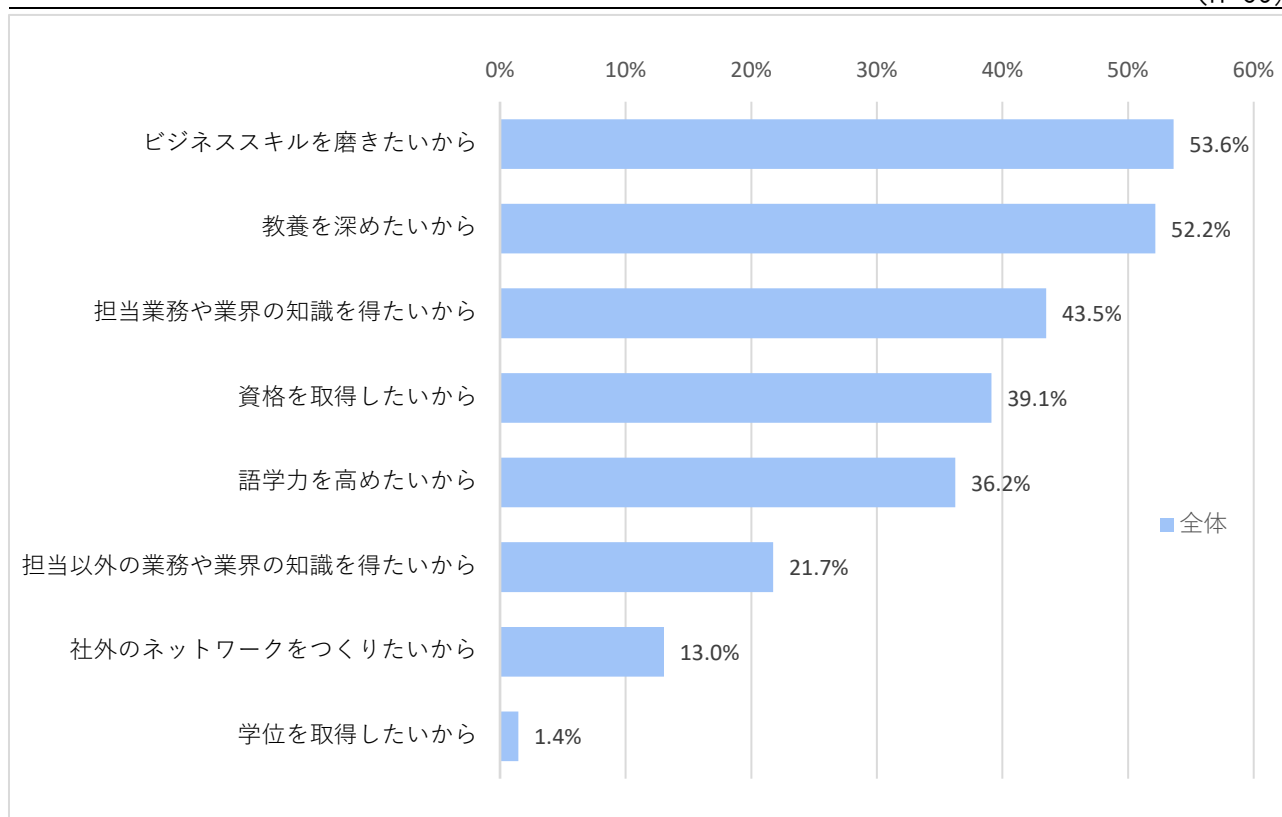


経年比較：全体〔2019-2020年度〕

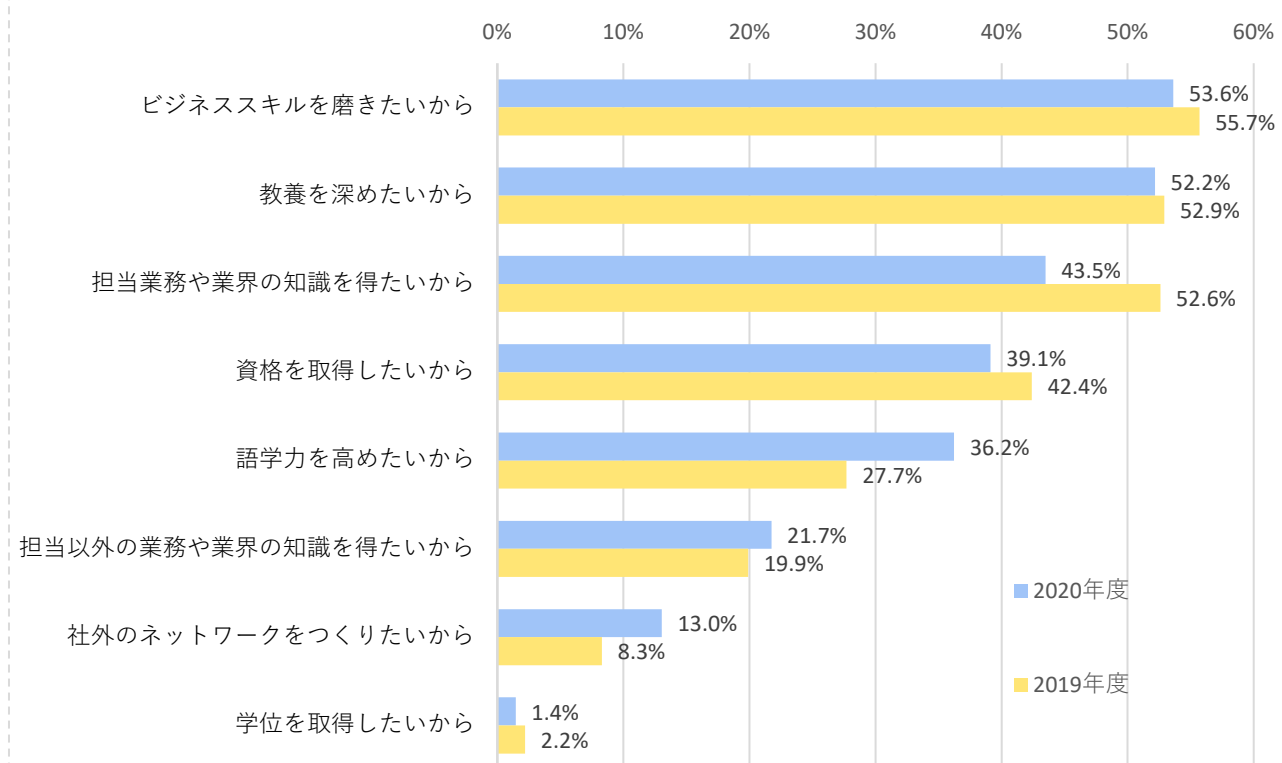


問14. 【問13で1、2、3のいずれかに回答した方へ】どのような理由でそう思いますか？
（3つまで選択可）

(n=69)

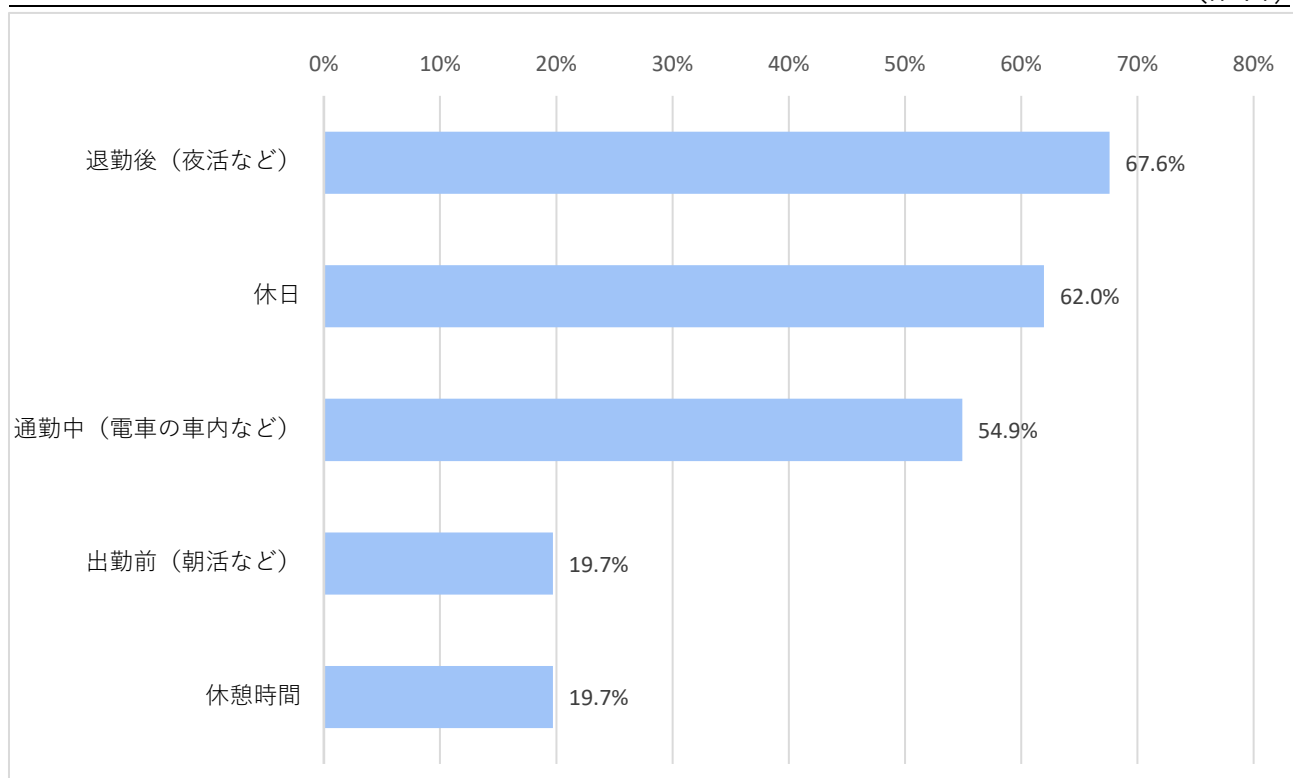


経年比較：全体〔2019-2020年度〕

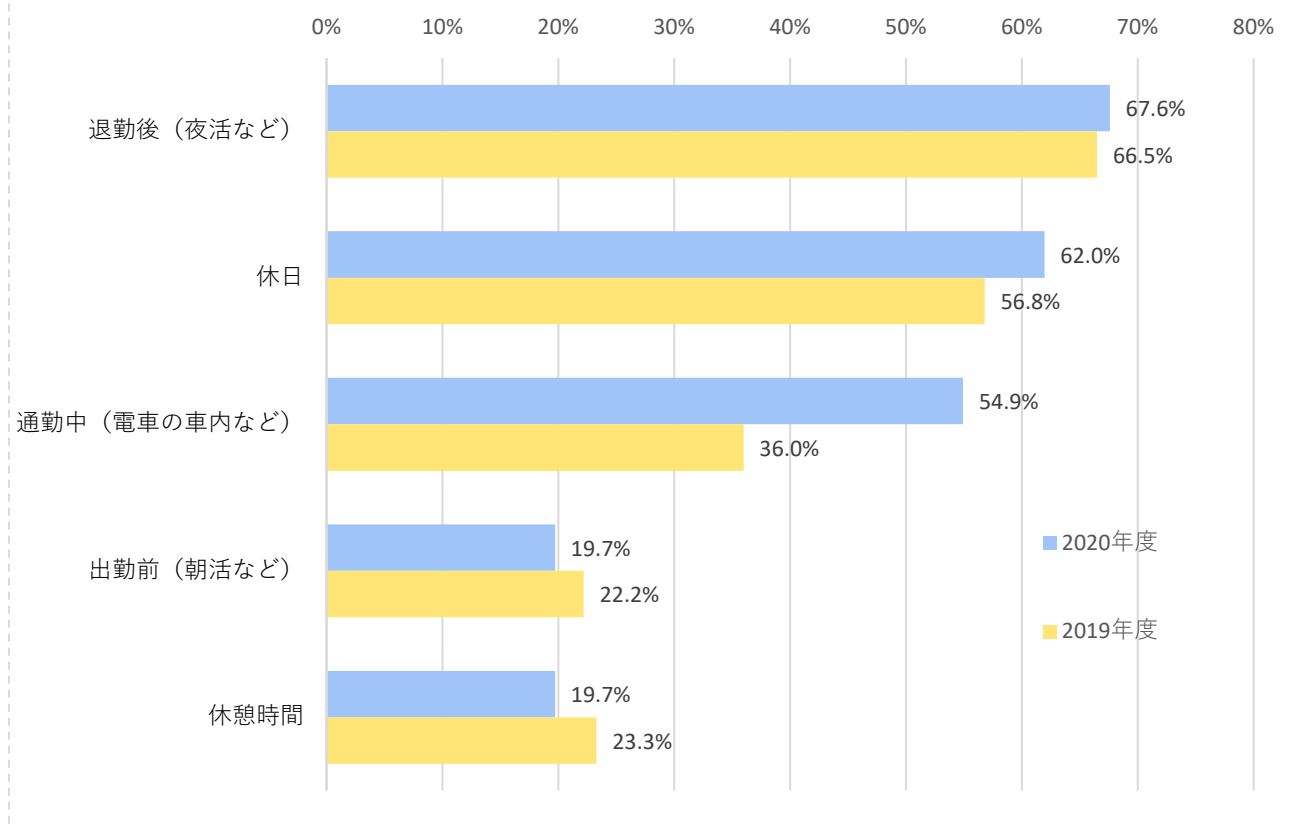


問15. 【問13で1、2、3のいずれかに回答した方へ】勉強はいつしたいと思いますか？
（あてはまるものをすべて選択）

(n=71)

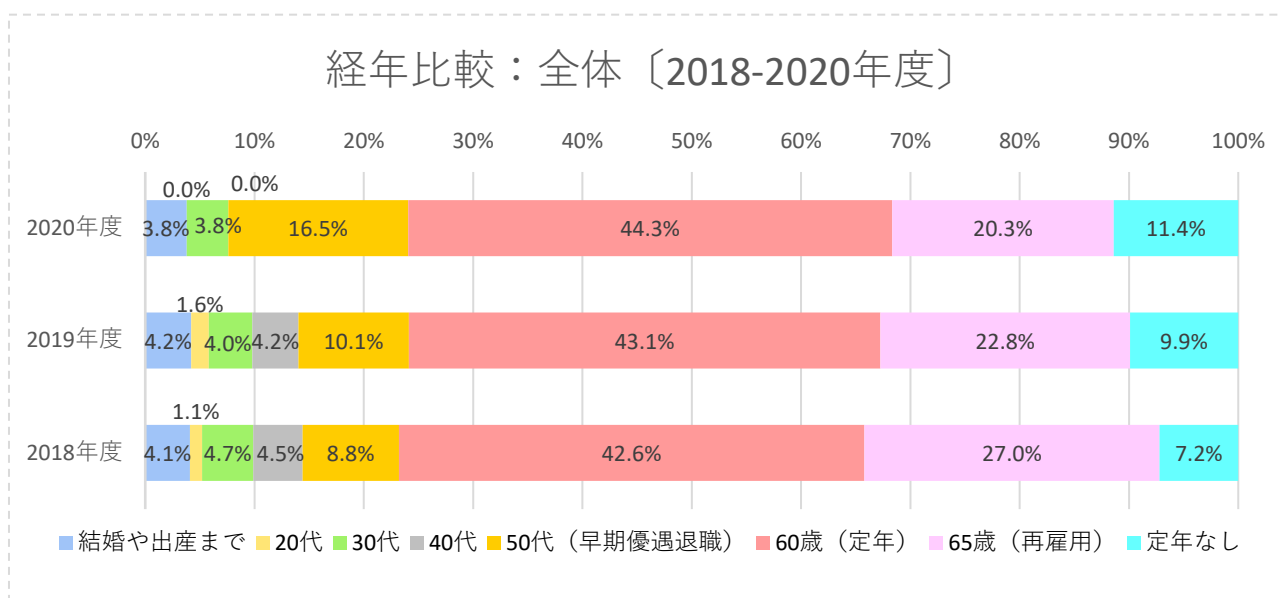
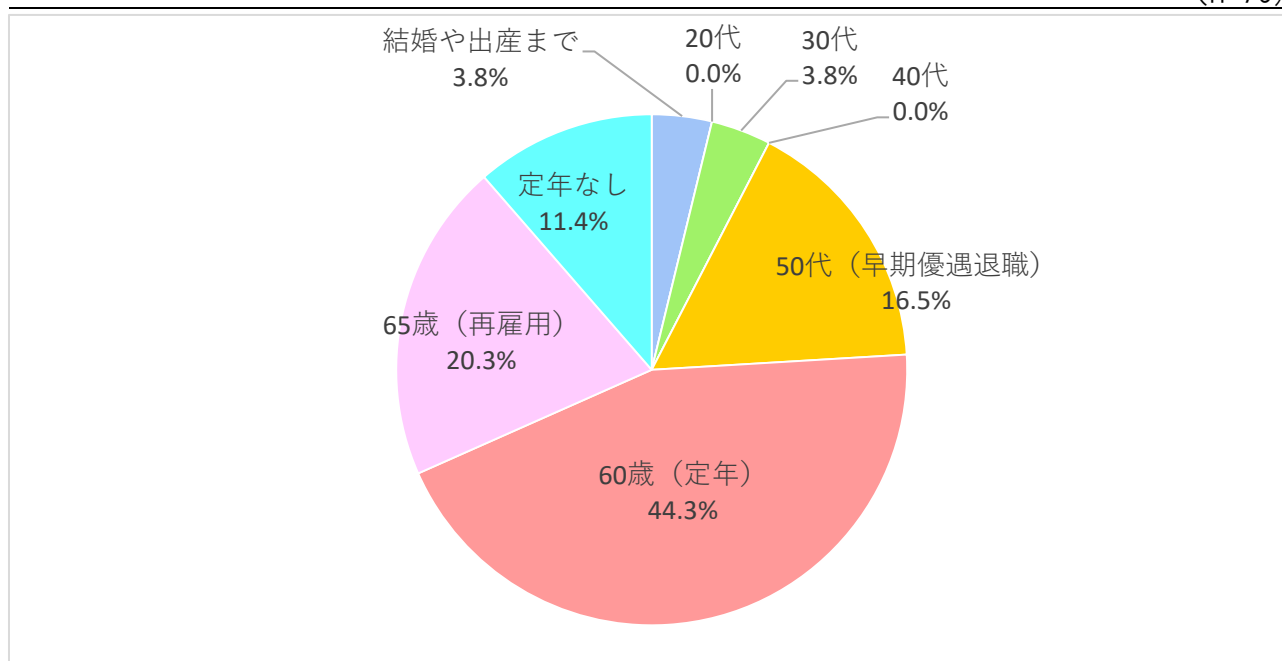


経年比較：全体〔2019-2020年度〕



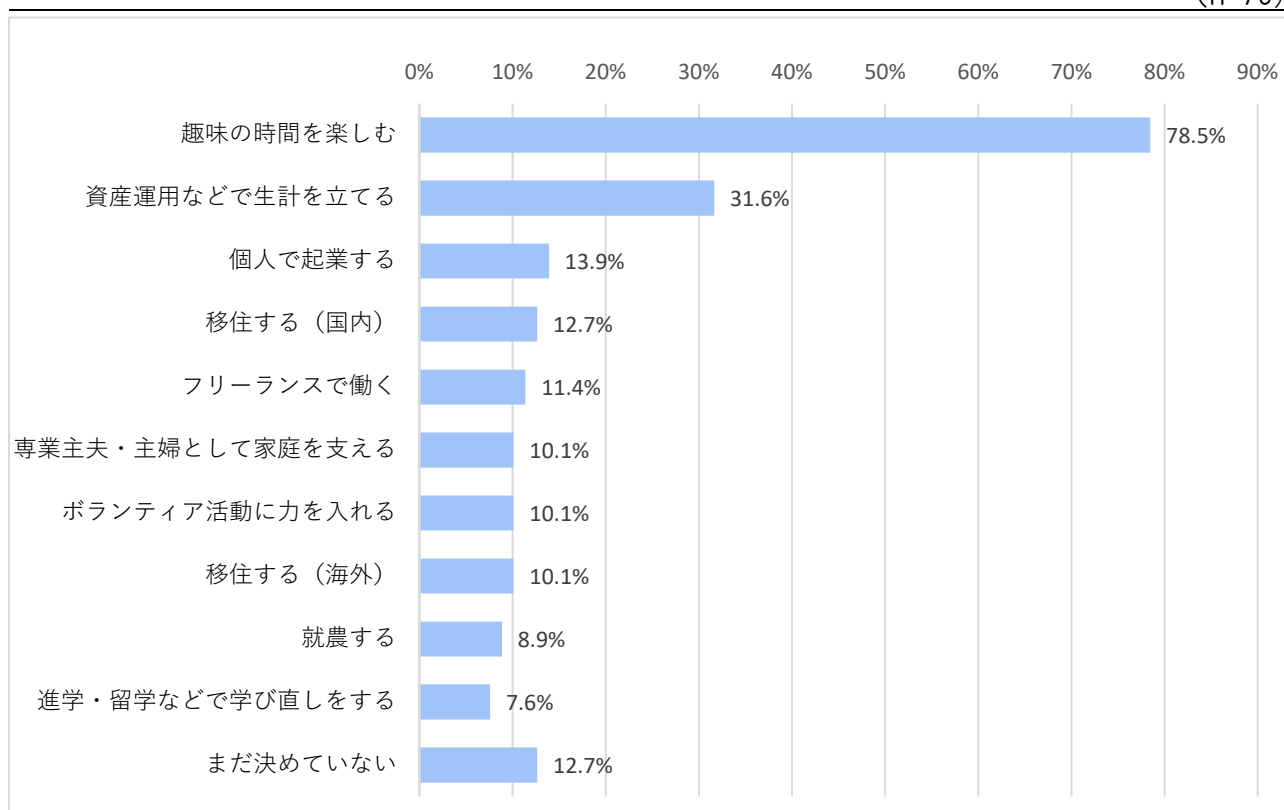
問16. “人生100年時代” と言われている中で、あなたはいつまで被雇用者（会社勤めなど）として働きたいと思いますか？（1つ選択）

(n=79)

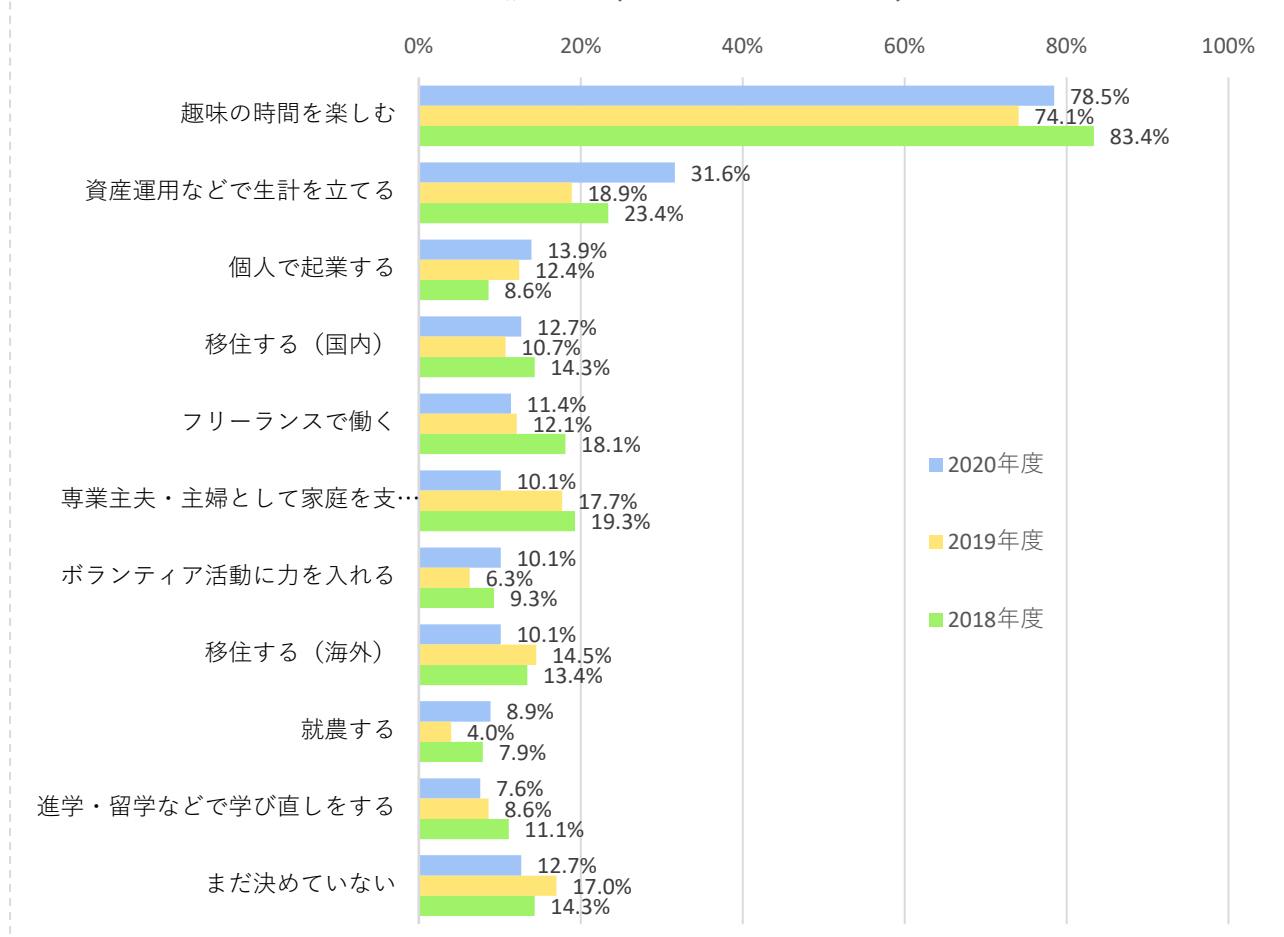


問17. 前問の年代で退職した後にやりたいことを選びください。(5つまで選択)

(n=79)

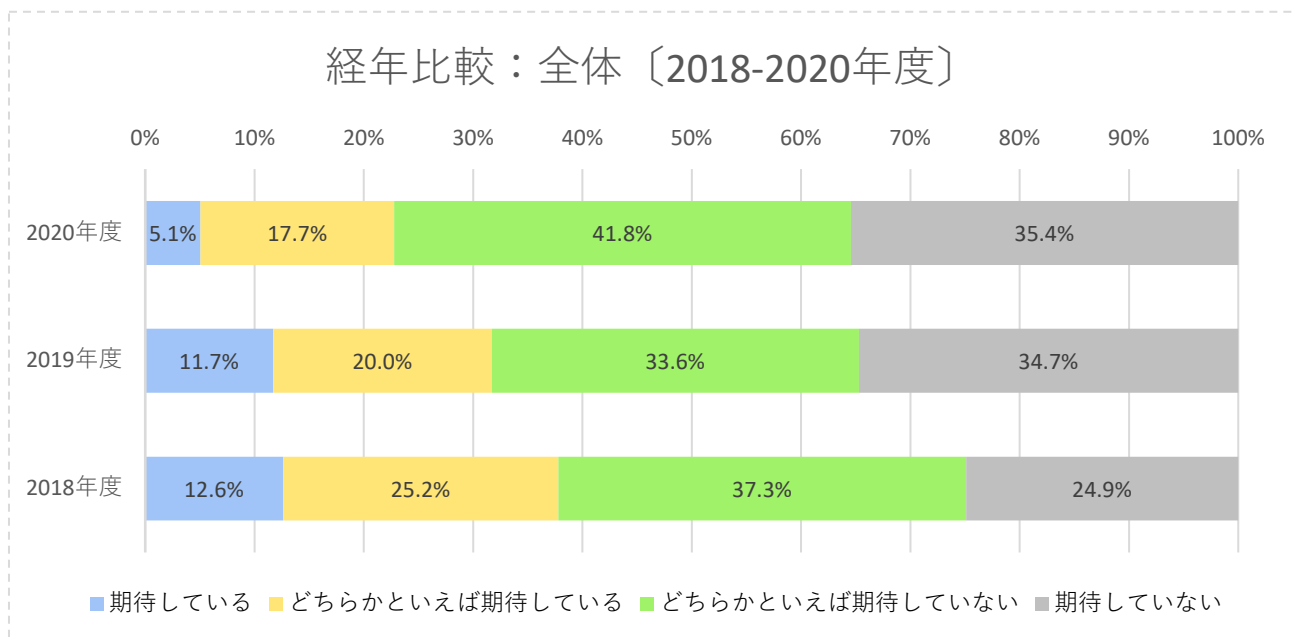
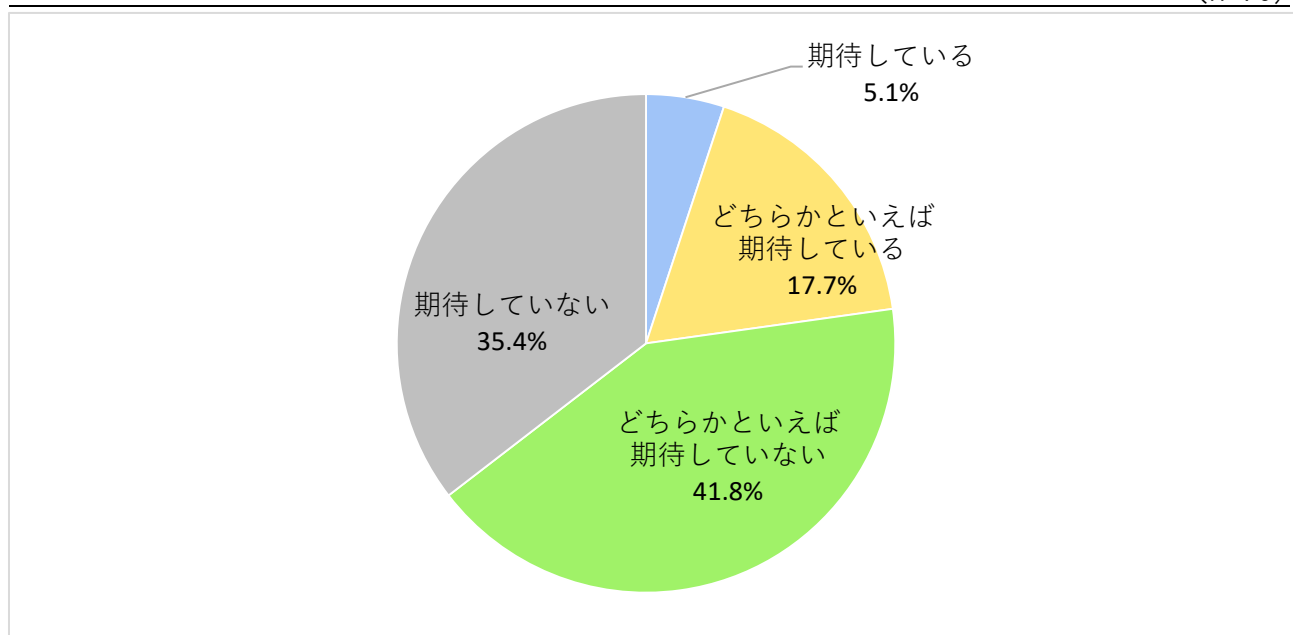


経年比較：〔2018-2020年度〕



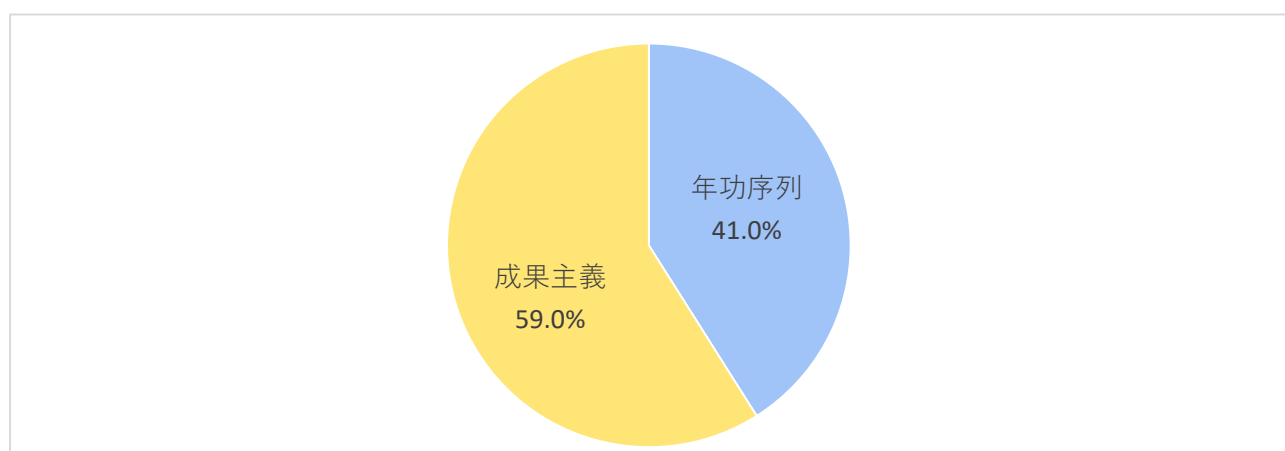
問18. 将来支給される公的年金（国民年金・厚生年金等）を老後の収入として期待していますか？（1つ選択）

(n=79)

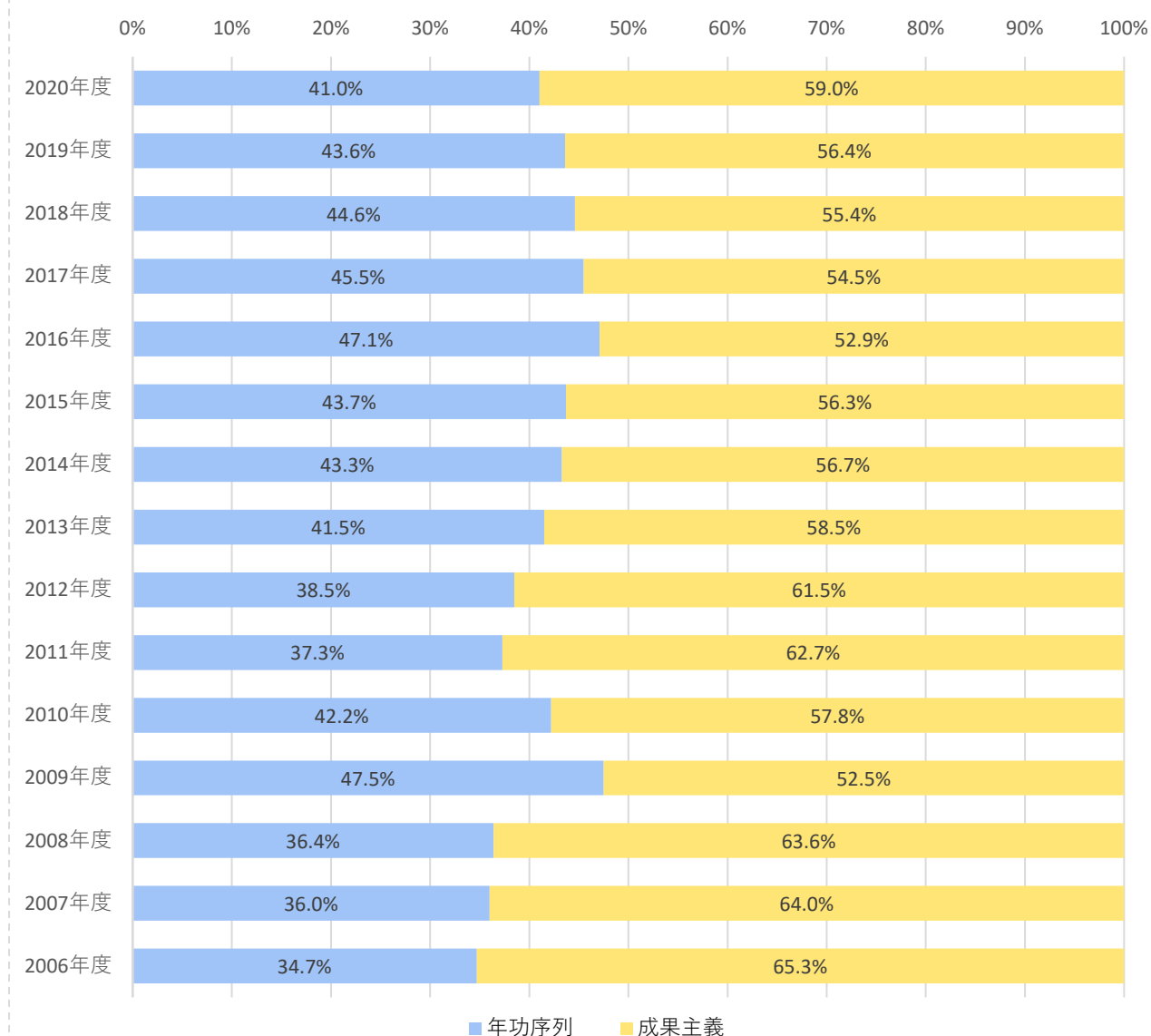


問19. 年齢や在籍年数に応じて昇進や待遇が決まる年功序列的な人事制度と、業績に応じて決まる成果主義的に人事制度ではどちらを望みますか？（1つ選択）

(n=78)



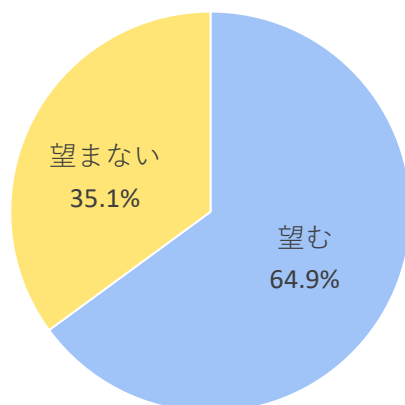
経年比較：全体〔2006-2020年度〕



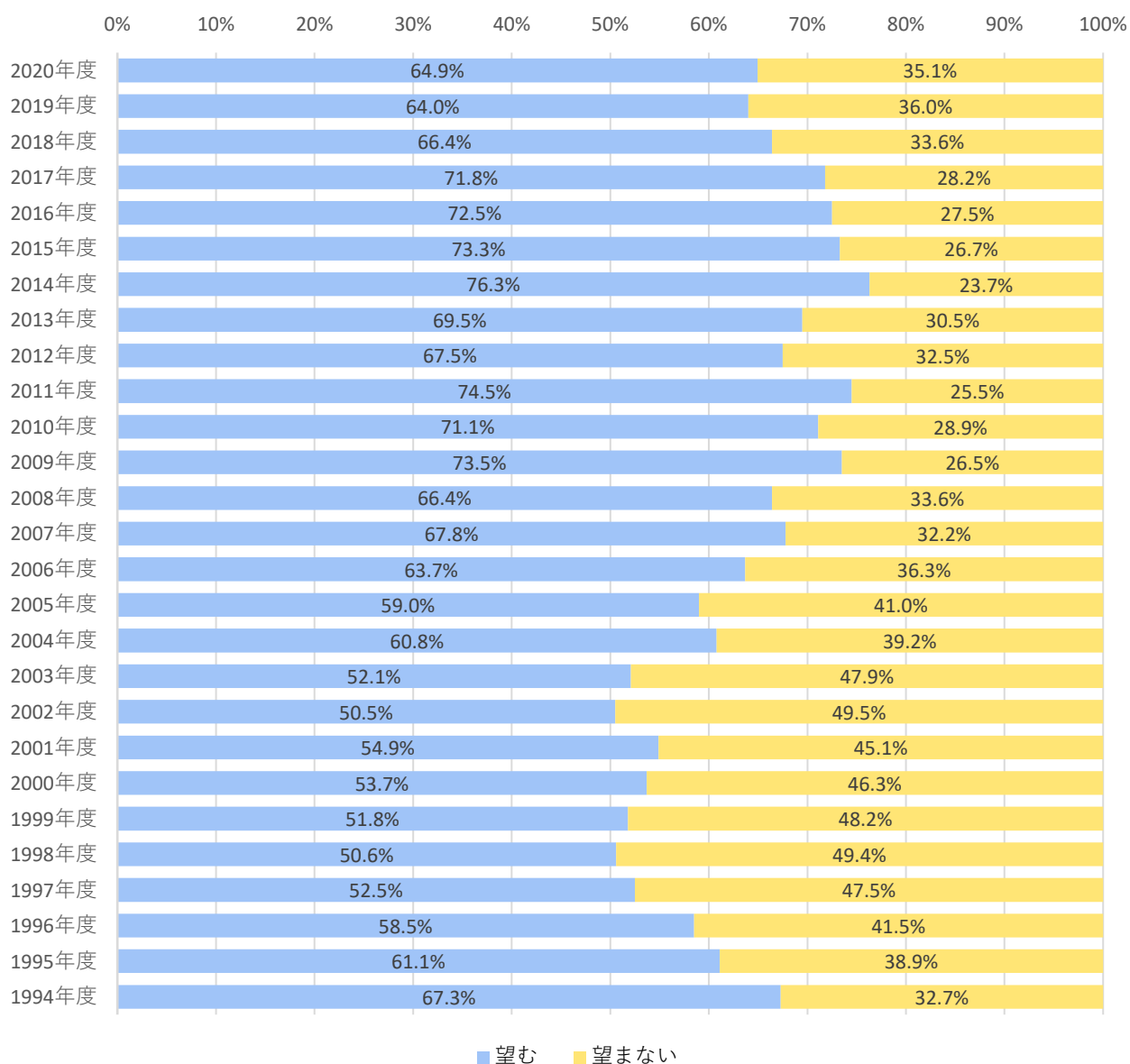
問20. “終身雇用制度”を望みますか？（1つ選択）

(n=77)

全体

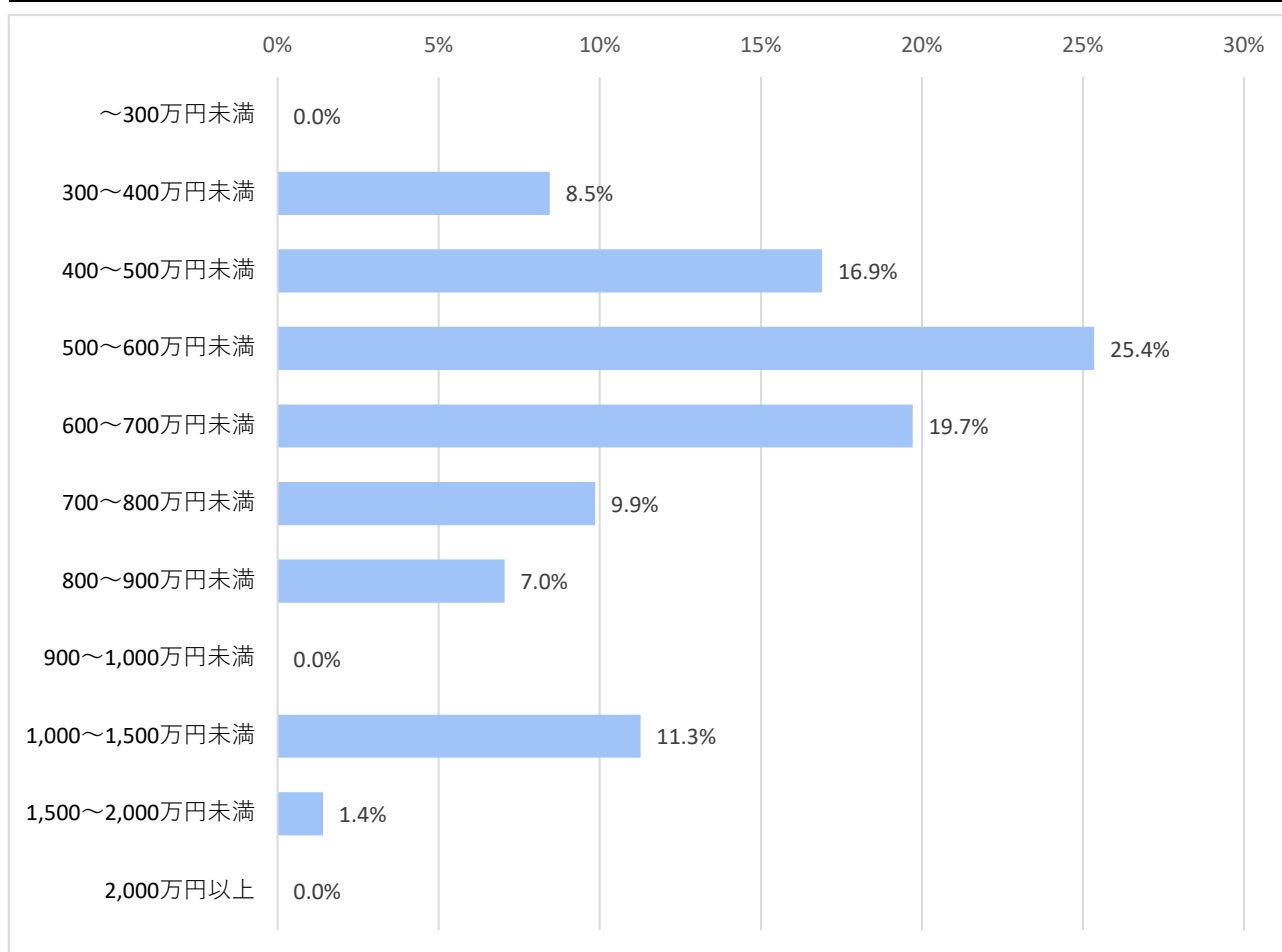


経年比較：全体〔1994-2020年度〕



問21. 35歳の時点でのあなたの理想の年収額はどのくらいですか？（自由記述）

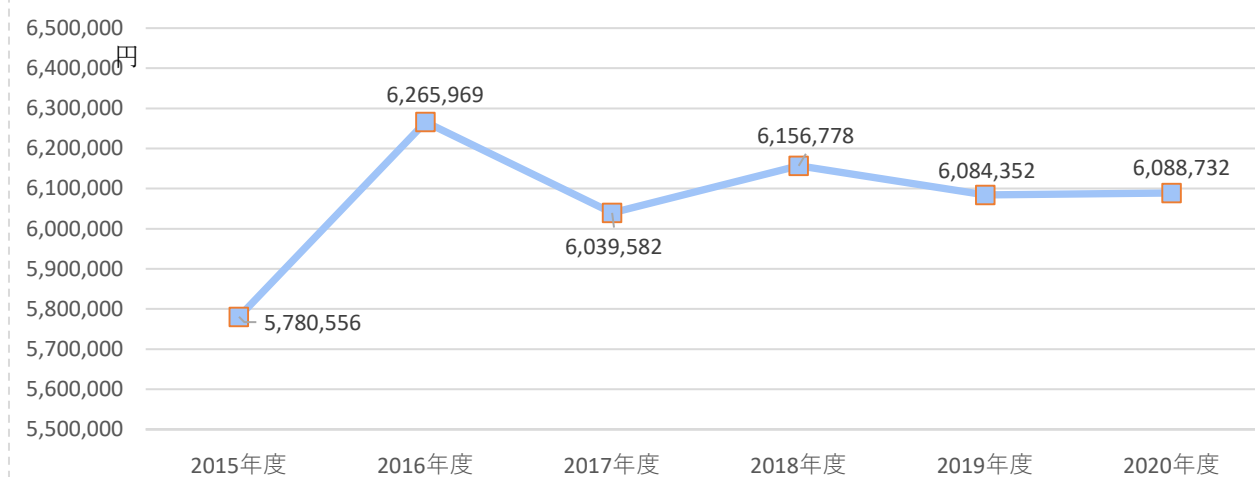
(n=71)



加重平均値

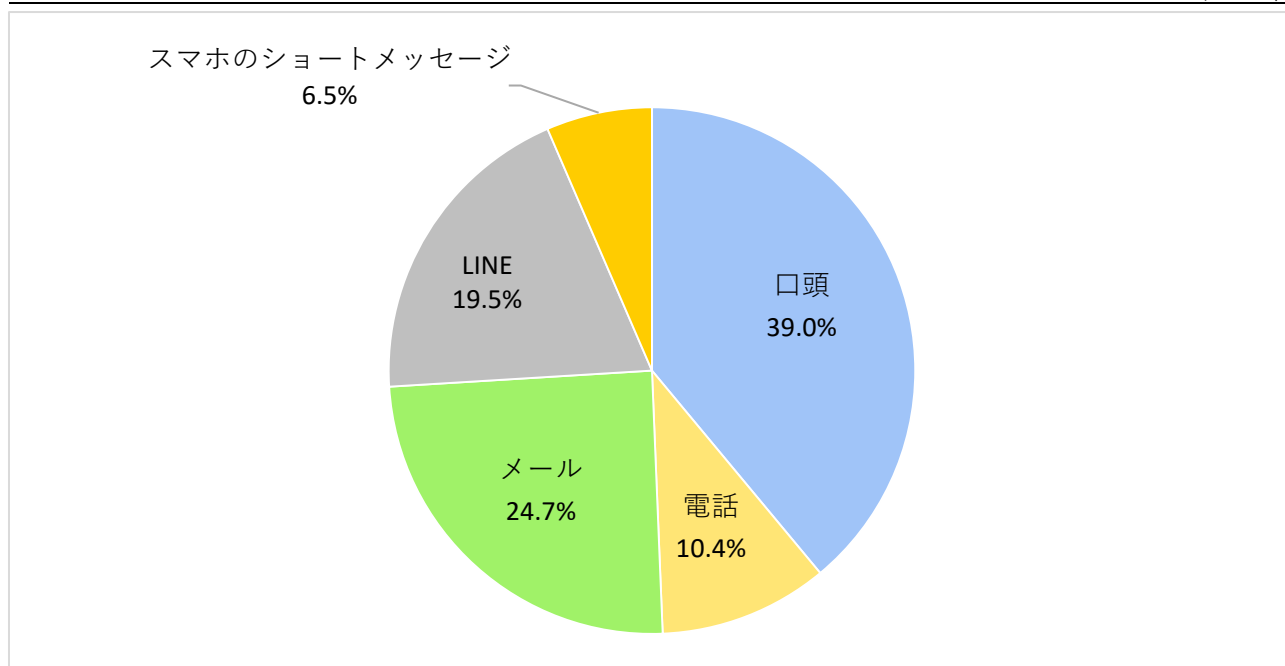
全体＝6,088,732円／対前年比：＋4,380円

経年比較：〔2015-2020年度〕



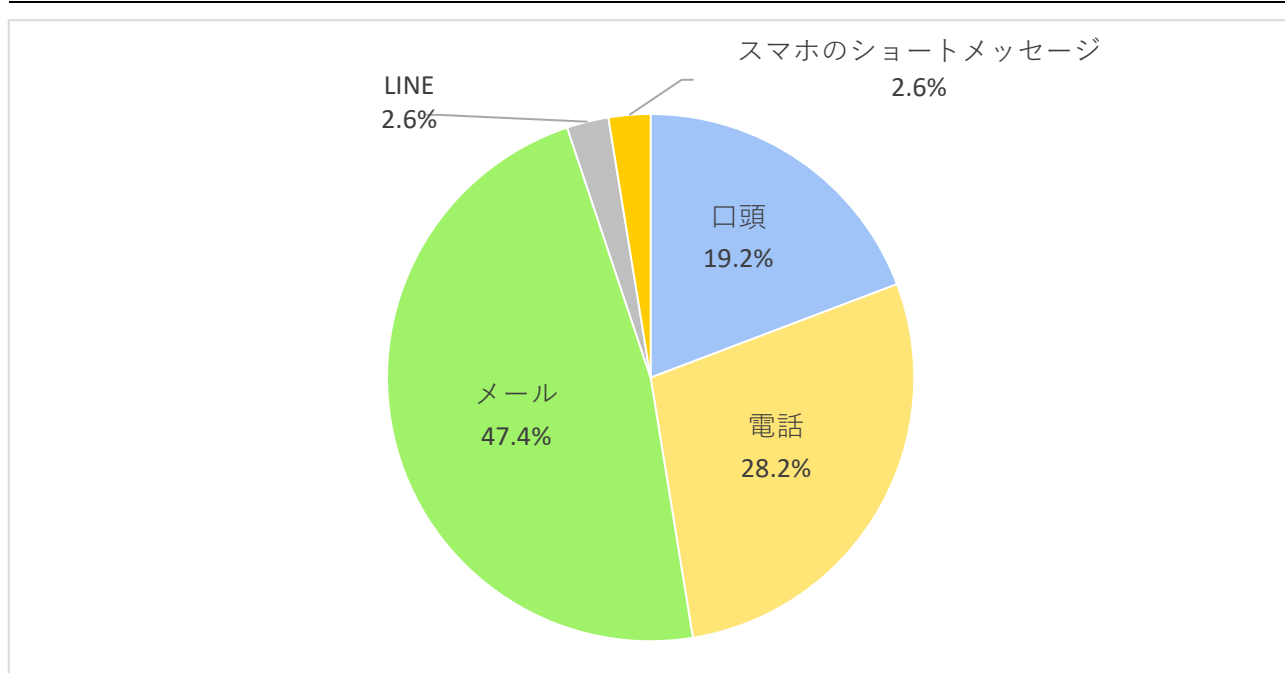
問22. 上司への報告や連絡手段として最も使いやすいのはどれですか？（1つ選択）

(n=77)



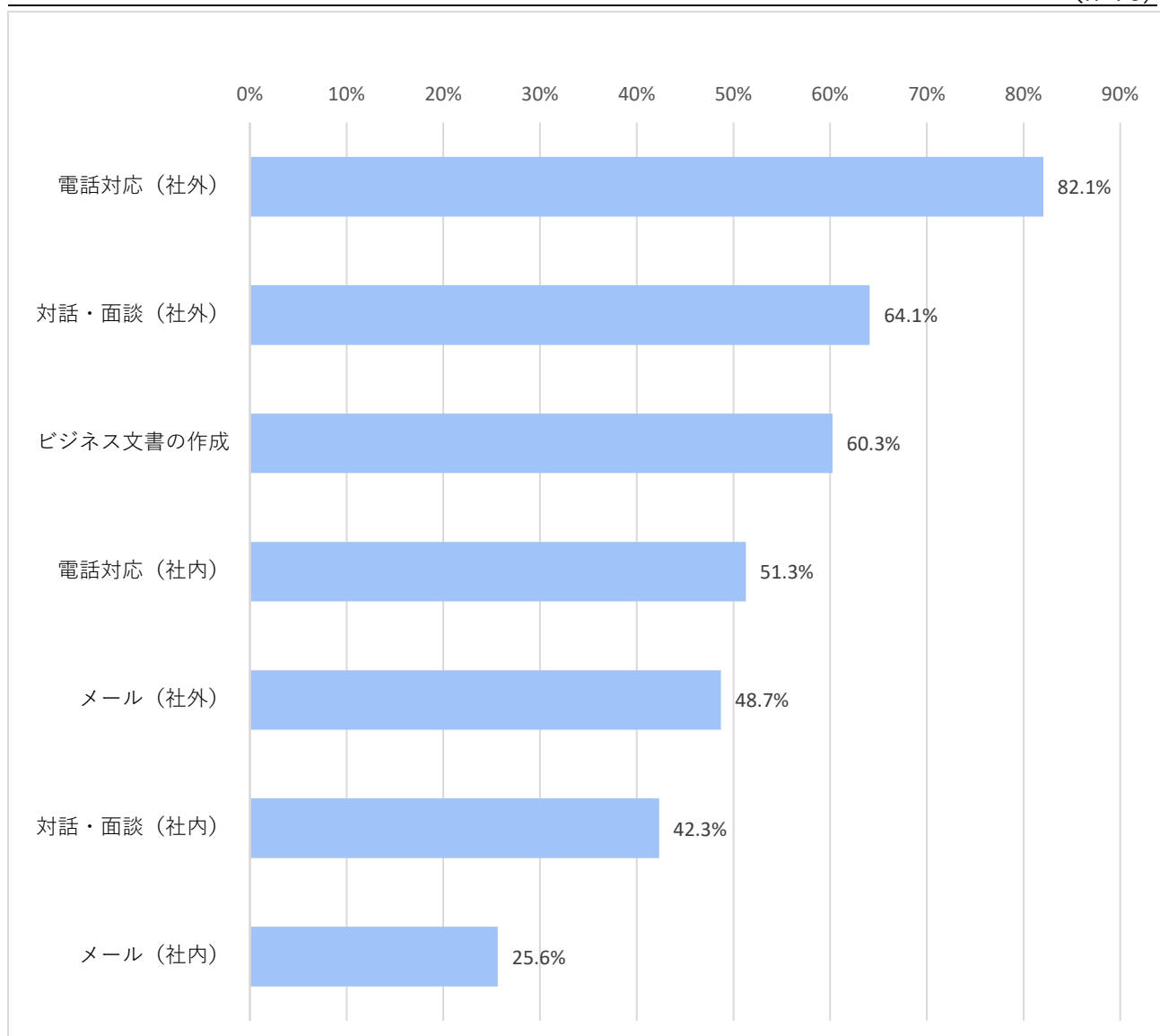
問23. お客様への報告や連絡手段として最も使いやすいのはどれですか？（1つ選択）

(n=78)



問24. 業務でのコミュニケーションで自信がない（不安がある）ことはどれですか？
（あてはまるものをすべて選択）

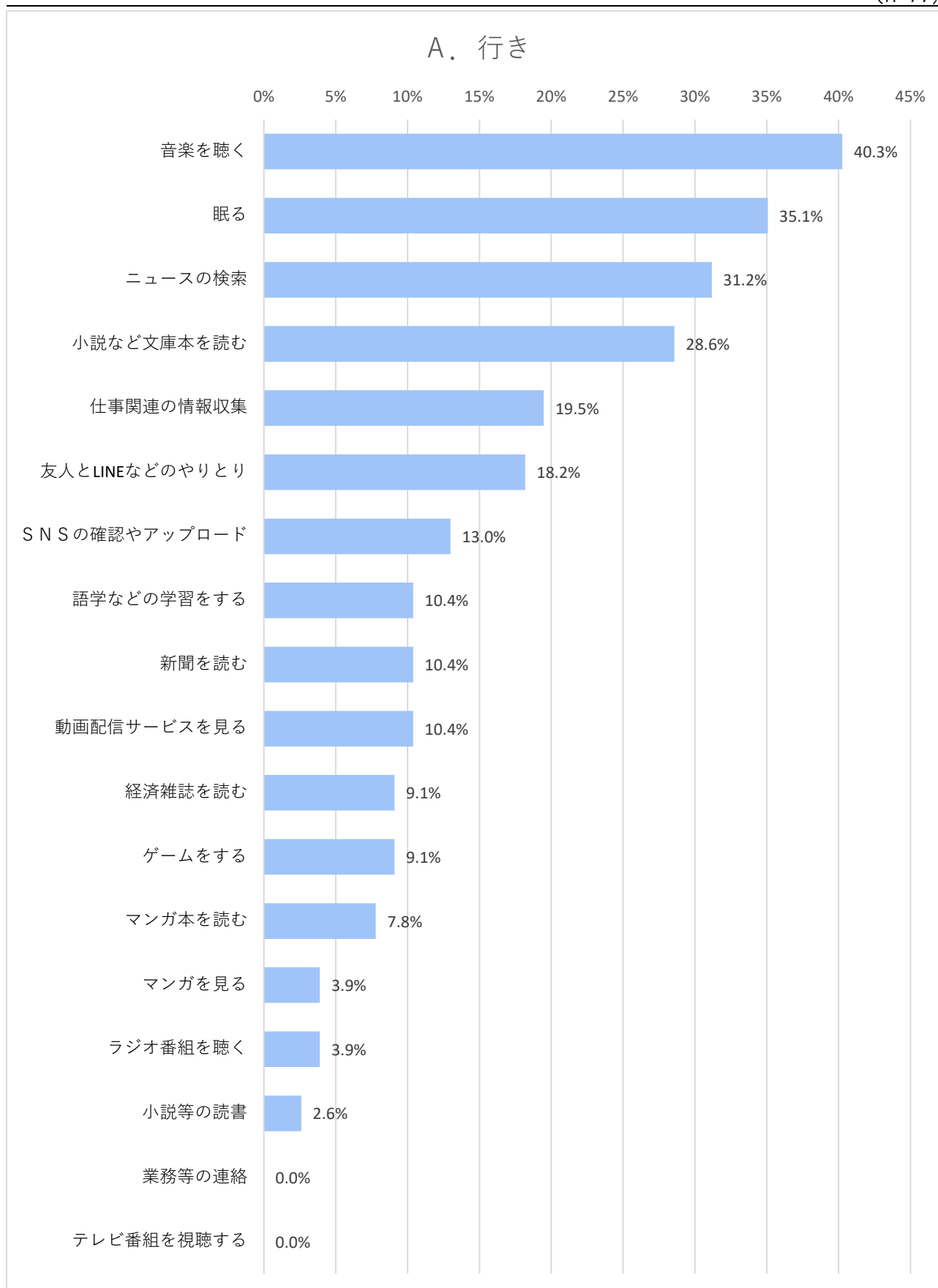
(n=78)



問25. 通勤の行き帰りの時間を使って、どのようなことをしたいと思いますか？

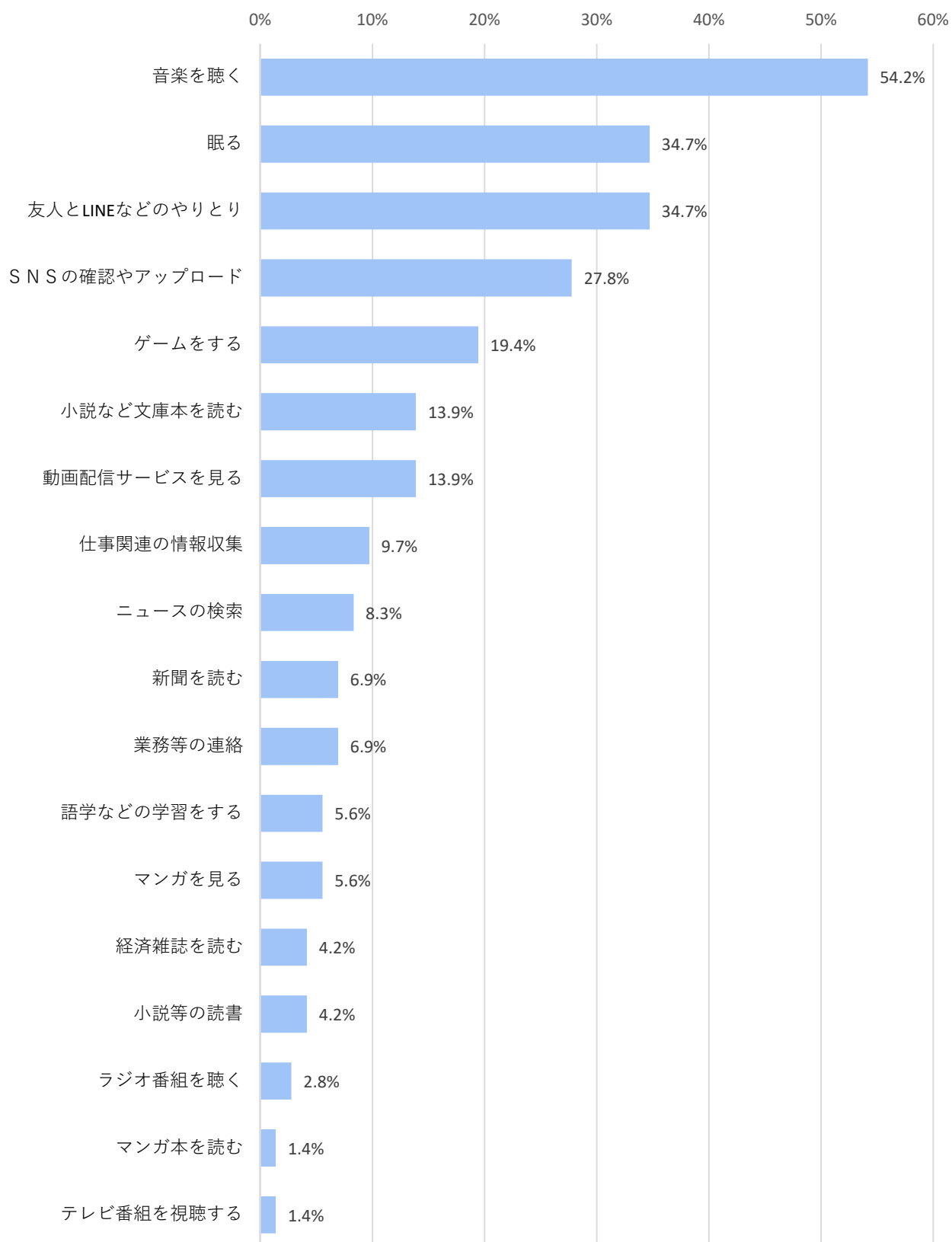
A. 行き、B. 帰りのそれぞれについてお答えください。（A、B各3つまで選択可）

(n=77)



(n=72)

B. 帰り



2020年度
新入社員の会社生活調査

2020年7月

学校法人産業能率大学
〒158-8630 東京都世田谷区等々力6-39-15
TEL : 03-5758-5117／fax : 03-5758-5501
(総合研究所 マーケティングセンター)
